

専門教育科目群 副専攻

主専攻以外の専門分野も学ぶ

副専攻コースは、首都大学東京の目指す多様な履修を可能にする専門教育として位置付けられています。主専攻（各学部・系の基本コース）とは異なる特定分野の専門科目を履修することによ

り、複数の分野にわたる複合的な専門知識の修得及び学際的視野の獲得を目的とする履修コースです。

卒業時には、副専攻コース修了証書が授与されます。

観光経営副専攻コース（2011年度開設）

観光経営副専攻コースのコンセプト

観光経営副専攻コースは、観光とその経営に関する教育プログラムを提供し、都市・自然・社会と調和した持続発展可能な観光を支え、観光関連企業、観光行政、地域において第一線で企画立案やマネジメントに携わるリーダーとなり得る、国際的視野と先端的なマネジメント能力を兼ね備えた先導的人材の育成を目指しています。

対象とする学生

すべての学部学生を対象としています。とりわけ、将来、観光産業や観光行政の幹部、観光関連分野での地域リーダーとして活躍しようとする学生、マネジメント能力に磨きをかけさまざまな分野のリーダーとして活躍しようとする学生、また、本学大学院を含む観光分野の大学院に進学を希望する学生などには本副専攻コースの履修を強く推奨します。

人間健康科学副専攻コース

人間健康科学副専攻コースは、健康福祉学部が提供し、人間健康科学研究科ヘルスプロモーションサイエンス学域の教員が授業科目を担当しています。

長寿社会化が進む大都市における人間の行動・適応・

栄養・健康の諸問題に関する教育を学際的かつ実践的に行い、総合的視野と専門的洞察力や知識を備え、健康の増進に関する指導能力を兼ね備えた、活力ある人材を育成することを目的とします。

履修モデルプランの例（あくまで例であり、興味関心に合わせて自由に科目を選択することができます。）

学びたい内容	関連する専門教育科目
こころの不思議や文化について学びたい	知覚運動制御論、運動心理学、運動文化論、行動神経科学、認知行動学、発育発達学ほか
生理生化学の応用可能性を学びたい	環境生理生化学、行動神経科学、食品機能と健康科学、生体防御と健康科学、栄養科学、運動処方論ほか
食品と栄養のエキスパートになりたい	食品機能と健康科学、スポーツと栄養管理、栄養科学、公衆衛生学、ライフステージ健康科学、生体防御と健康科学ほか
スポーツについて集中的に勉強したい	スポーツ教育学、スポーツと栄養管理、スポーツ機能解剖学、運動処方論、認知行動学、運動文化論ほか



都市教養学部 理工学系
生命科学コース3年
塩入 直也

人間を対象とした分野を学ぶことで
主専攻に対する視野も広がりました。

幼い頃から水泳をやっていたこともあり、スポーツや栄養について興味を持っていたので、迷わず副専攻コースを選択しました。特に興味深かった科目は「スポーツと栄養管理」「健康とスポーツの科学」で、スポーツの場面に応じたエネルギーの摂取方法や毎日を健康的に過ごすためのトレーニング方法など、講義内容

を実際の生活に活かすことができるので、とても実用的な科目だと思います。また、主専攻の生命科学分野では人間を主な学習・研究の対象としていないため、副専攻で人間を扱う分野の科目を学んだことで、主専攻に対する考え方や視点が広がったことも大きなプラスになりました。（2010年10月取材）

都市教養学部

Faculty of Urban Liberal Arts

都市教養学科

http://www.tmu.ac.jp/academics/faculty/urban_liberal.html

032 人文・社会系

034 社会学コース

036 心理学・教育学コース

038 国際文化コース

042 法学系

044 法律学コース

046 政治学コース

048 経営学系

050 経営学コース

052 経済学コース

054 理工学系

056 数理科学コース

058 物理学コース

060 化学コース

062 生命科学コース

064 電気電子工学コース

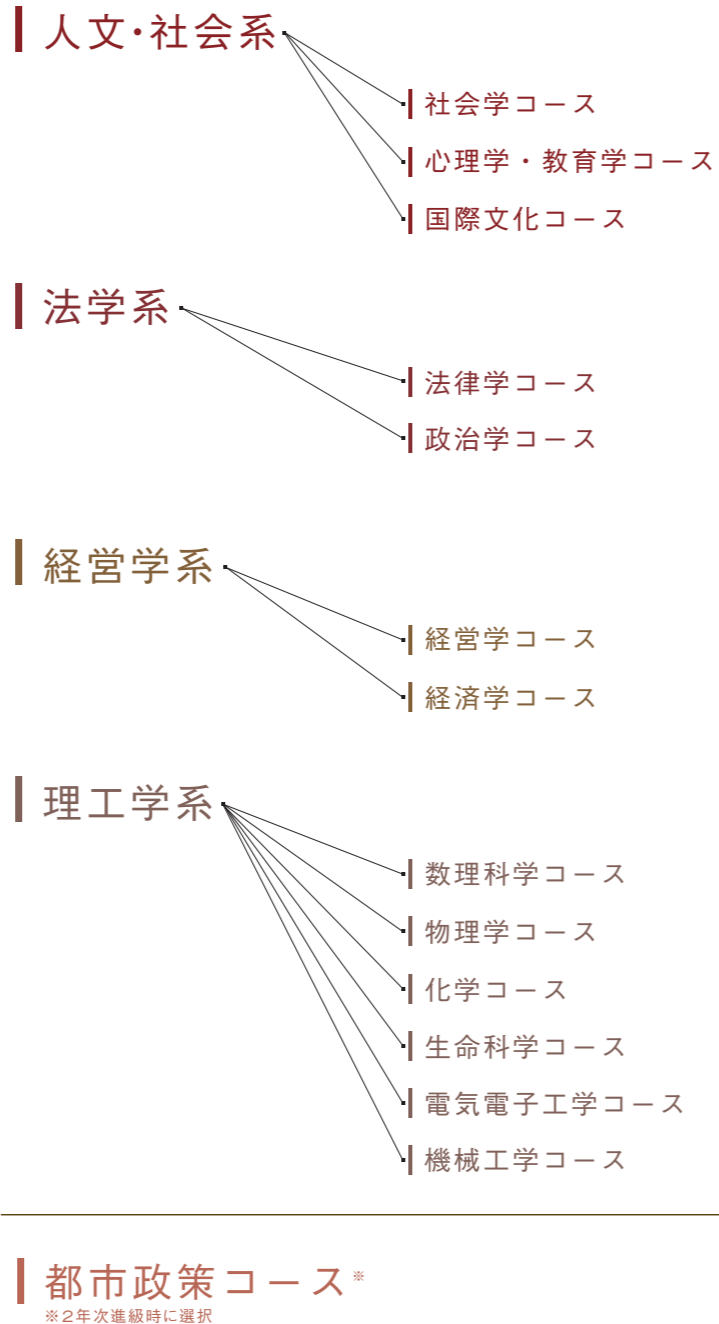
066 機械工学コース

068 都市政策コース*

*2年次進級時に選択

都市教養学部

都市教養学科



都市教養学部長 奥村 次徳

「教養」とは何か、どのような力を養うか。

都市教養学部は一般的に言われている教養を身につけることを第一の目的にしているわけではありません。本学部は—各々が興味や関心をもち習得したいと思う専門分野を体系的に学ぶこと—つまり基軸となる専門分野の知識や技法を身につけながら、視野を拡げていくことが重要だと考えています。そしてその専門分野を社会との関係性、歴史の時間軸のなかで、どう位置付けられるかを捉える俯瞰的な視野を持つ、これこそが本学の目指す「教養」と言えるでしょう。

こうした認識のもと、本学部では各界で活躍できる優れた人材を育成するため、少人数制のきめ細やかな教育を実践しています。自らテーマを提案して自主的に研究を進めるプログラムやセミナーなども入学後の早い時期から履修でき、教育者かつ研究者として高い評価を得る教授陣に触れ合う機会も数多く設けています。4学系14コースを擁する本学部には、幅広い分野を教授しながらも、決して大規模・大人数ではない適性規模のスケールメリットを活かし、早い段階から学生と教授が、また学生同士が膝を突き合わせて専門分野を学ぶことができる環境があるのです。

人文・社会系、法学系、経営学系に関しては、2年次に進級する際にコース選択して専門科目を体系的に学びます。理工学系を含めて、都市問題に取り組みたい学生は、学際的な都市政策コースへの進学も可能です。本学では在学生在が主体となって受験生へ大学での学びを紹介する窓口を設置しております。受け身ではなく、自ら学び、自ら道を切り拓く、気概を持った学生を歓迎いたします。

学部の特徴とポイント

「都市」をキーワードに、文系・理系にこだわらず、人文科学、社会科学、自然科学（基礎工学分野を含む）という、さまざまな分野を網羅したこの学部では、広い視野に立った学びの環境を整えつつ、さらに各専門分野でのきめ細かい教育が行われています。

4年間の学びでは、現代の都市における新しい教養教育を修得しつつ、さらに各学系で専門分野を履修するという、都市教養学部ならではの取り組みがされています。こうした特色ある教育によって、幅広い視野や創造性が養われると同時に、各分野での専門性が磨かれます。

また、2年次より、各学系には属さず、都市の分野を横断的に学べる「都市政策コース」を選択する道も。ここでは将来、国や地域の政策立案・実践を行う上で必要な基礎的な素養を修得することを目的とし、狭い専門分野を超えた、現実の都市社会を動かしていけるリーダーの育成に力を入れています。

人材育成の狙い

21世紀を担うリーダー像とは…。創造性豊かな教養にあふれ、幅広い視野をもって、さまざまな状況で的確に判断できる能力を兼ね備えた人物こそが、これからの時代に求められるリーダーでしょう。本学部では充実した教養、専門教育を通して、本当のリーダーになり得る資質を備えた人材を育成することに力を注いでいます。

また、本学部は各コースとも、少人数の講義を多く取り入れ、しっかりと向き合う教育を実践しています。教員と学生一人ひとりが確かなつながりを持ち、学ぶことの喜びや大切さを実感させる教育は、人間的な温かみをもって都市の諸問題にまじめに取り組める、豊かな人間性を育みます。



「人間と社会」を探究する学びを通して
自分と自分の参加する社会の可能性を広げる。

都市教養学部の「人文・社会系」では、文字通り「人間と社会」に関する学問を学びます。学びの目標としては、基礎的な知識の土台の上に分野特有のアプローチや分析方法を習得すること、大量に流通する情報を批判的に取捨選択して自らの指針を定めることを目指します。そして、そうした訓練を行う中で、複雑で厳密な議論を完全にコントロールできる「文章力」が身につけばこれ以上望むものではありません。ここで言う「文章力」とは、単に何かを上手に書く力ではなく、物事を深く考え明晰に理解することそのものであり、文章表現はその果実として自然に生まれるものに過ぎないのです。

首都大学東京の大きな特色は少人数教育にあり、人文・社会系においてもゼミの人数が10名を超えるようなことはまずありません。そこでは学生と教員、学生同士の議論が学びの根本にあり、そのプロセスでは何よりも論理の緻密さや視野の広さを重視しますが、一方で一人ひとりが最初に感じた直感的なイメージも大切に柔軟な指導を心がけています。

そのような環境のもとで「人間と社会」について学んでいき、それまで気付かなかった思いがけない事実や真実を発見した時、社会常識として定着しているステレオタイプのものの見方を覆すような深い思考に自分の目が開かれた時、人文・社会系の学問を学ぶ醍醐味と、喜びが実感できるはずです。それは、自分自身の可能性だけでなく、自分が参加しているこの社会、行き詰まりつつあるこの世界の可能性を広げることにつながるからです。

人文・社会系長 石川 知広

人文・社会系

社会学コース

心理学・教育学コース

国際文化コース

系の考え方

1年次は全員が共通の教養科目を受講し、大学で学ぶために必要な基礎的な学力を高めます。2年次よりコースを選択。「社会学」「心理学・教育学」「国際文化」の3コースに分かれ、さらに細かく分かれた専門分野で学びます。本当に学びたいことと、志望のミスマッチをなくすために、1年次の後期に教員による専攻紹介が行われています。ただし、希望者が定員数を超えたコースは、成績や試験による選抜があります。

系の特色

都立大学時代からの伝統を受け継ぎ、高い評価と実績があります。少人数教育が特色で、卒業論文では、先生一人に対して学生は数人。教員によるきめ細かい指導のもと、学生の一人ひとりが高いレベルの研究を行います。学びへの探究心が強く、大学院を志望する学生が多いのも特色です。

また、各コースの専門分野別に院生・学生のための部屋があり、学生たちが自主的に集い、交流する、アットホームな雰囲気があります。

社会学コース

http://www.hss.tmu.ac.jp/020.html



世界都市、異文化、社会問題と対話し、実践の道を切り拓く

急激に変化する現代社会や大都市において発生しているさまざまな現象や問題について、その意味や背景、それに問題解決の処方箋を学べます。コースには、次の3つの分野があります。

- ①社会学分野では、社会学の基礎概念と諸理論を踏まえ、現代社会や都市の抱える諸問題を、サブカルチャー論、ジェンダー論、コミュニティ論、エスニシティ論、社会階層論など多様な視点から学びます。また社会調査方法論を踏まえた現地調査を体験できます。
- ②社会人類学分野では、世界の社会や文化の見方に関する基本概念を学びながら、アジア・アフリカ・オセアニア・アメリカなどの諸民族の環境・政治・経済・社会・文化の特色を理解し、それをグロー

バル化している世界の文脈に位置づけて理解します。これにより世界各地の社会・文化に見られる生活や価値観の多様性や創造性、あるいは混合的な生活スタイルなどを世界的な比較の視野から捉え、過去・現在・未来にわたる人類のあり方を学びます。

- ③社会福祉学分野では、生活環境の変化や問題を理解し、それに対応する社会保障・社会福祉の政策理念・方法・制度・歴史などを学びます。また、生活問題・ニーズを抱える人々を支援する仕組みや支援方法・技術を学びます。希望すれば社会福祉施設や機関での現場実習を体験できます。

カリキュラムの特色

社会学分野の2年次では、必修科目の「社会学基礎演習」でゼミナールスタイルの授業への参加の仕方を、3・4年次は、社会学を勉強するために必要な思考・研究方法を学びます。問題意識のある学生は、3・4年次の演習科目で興味あるテーマを積極的に調査できるカリキュラムになっています。社会人類学分野では、2年次で基礎的な理論やスタディスキルを学び、3年次で英文テキストや専門書を用いた高度な演習に参

加するほか、国内での調査実習（選択制）にも従事します。そして、4年次での卒業論文の執筆は、必要に応じてフィールドワークを実施しつつ、すべての知識や経験を集約させる機会となります。社会福祉学分野では通常の授業に加え、社会福祉の政策や実践現場で働く人々とのふれあいを通じて現実社会の動きを肌で理解します。

求められる学生像

激動する社会を感度の良いアンテナで捉え、積極的な関心をもちながら理解をしようとする学生、すなわち現代社会のさまざまな現象や課題に対して、自ら情報収集し、現場に向かい、自分の目で確かめ、自分の考えをまとめていくような自主性のある学生を求めています。さ

らに、日本や世界各地の人々が、政治経済的あるいは宗教文化的状況の中で、どのような暮らしをしているのか、現地で直接見聞きたい、あるいは本や映像・画像を通して比較し、理解したいという行動的な学生を求めています。

履修モデル

区分	1年	2年	3年	4年
社会学分野	都市教養科目群 共通基礎教養科目群	社会学基礎演習 都市社会学II、社会調査法II 社会学原論、社会学部特殊講義 社会調査法特殊講義 都市社会学特殊講義	社会学演習 社会調査法演習 都市社会学演習	卒業論文 社会学特論演習
社会人類学分野	都市教養科目群 共通基礎教養科目群	社会人類学基礎演習 社会人類学A・B 民俗学特殊講義 地域研究特殊講義 民族誌特殊講義	文化人類学演習I・II 社会人類学演習I・II 民俗学演習、地域研究演習 民族誌研究演習	卒業論文 社会人類学特論演習
社会福祉学分野	都市教養科目群 共通基礎教養科目群	社会福祉学基礎演習I・II 社会福祉援助技術論I・II	社会福祉学原論I・II	卒業論文 社会福祉学卒論演習I・II
社会学分野	都市教養科目群 共通基礎教養科目群	社会福祉援助技術演習I・II 高齢者福祉論I・II 障害福祉論I・II 児童家族福祉論I・II 公的扶助論I・II 社会福祉法I・II 介護概論 社会福祉国際比較	社会福祉援助技術現場実習 相談援助実習指導I・II・III 社会保障論I・II 対人福祉援助論I・II 社会福祉援助技術演習III・IV・V 地域福祉論、生活問題論I・II 社会福祉学特論演習I・II 社会福祉の歴史と思想I・II 社会福祉行政論、社会福祉組織論	

取得できる資格・免許

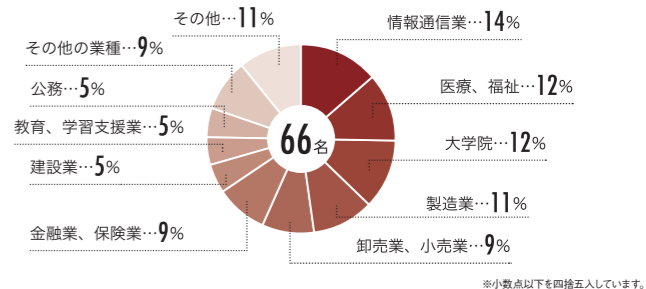
- 学士（社会学）：社会学分野の卒業を要件として取得できます。
- 学士（社会人類学）：社会人類学分野の卒業を要件として取得できます。
- 学士（社会福祉学）：社会福祉学分野の卒業を要件として取得できます。

社会学分野：教員免許（高校一種／公民、中学一種／社会）
社会調査士

社会人類学分野：教員免許（高校一種／公民、中学一種／社会）
学芸員（公立・私立博物館の民族部門）、社会調査士

社会福祉学分野：教員免許（高校一種／福祉）
社会調査士、社会福祉士の受験資格、社会福祉主事の資格

卒業後の進路



2009年3月、2010年3月卒業生実績

〔就職先〕 NTTコミュニケーションズ、戸田建設、大日本印刷、ニコン、ベネッセコーポレーション、光通信、リソナグループ、日本生命保険、山和証券、三井食品、住友商事、日本IBM、全日本空輸（ANA）、プリチストン、宇宙航空研究開発機構（JAXA）、森ビル、富士重工業、みずほ信託銀行、岡村製作所、日本赤十字社、大塚商会、電通テック、京王観光、ユニクロ、厚生労働省、東京都庁、群馬県庁、警視庁、葛飾区役所、調布市役所、横浜市役所 など

〔進学先〕 首都大学東京大学院、東北大学大学院 など

在校生インタビュー

物事を再発見・再認識できる社会学は将来の糧になってくれるはずです。

高校までの学びは課題を与えられてその解答を考えるものでしたが、社会学の学びは自分が問題意識を持ってはじめて課題が生まれるので、自分でそれを発見していかなければならないところが一番難しいですね。その分、自分の興味あるテーマで学べますし、自分にとっても再発見・再認識することが多いので、将来に向けての糧になります。私の場合は社会学の歴史や昔の人の考え方・価値観に触れて、それを現代に応用するにはどうすればいいかを考えるのが楽しいです。将来はマスメディアで報道やレポートなど「人に伝える」仕事にチャレンジしたいので、留学などさまざまな経験を学生のうちにしておきたいと思っています。



【人文・社会系】社会学コース3年社会学分野
(2010年10月取材)
松永 理沙

実習の授業でリアルな福祉の現場を経験。仕事を通して社会貢献するのが目標です。

少子高齢化などの福祉問題、また社会福祉士の国家資格取得に関心があり社会福祉分野を選びました。講義で学んだ事を肌で感じた実習の授業は強く印象に残っています。私の場合、新宿区の社会福祉事務所実習を行い、高齢化や福祉の国際化の現状を目の当たりにしました。次の実習は高齢者施設で行うため、また違った視点から多くのことを吸収したいです。3年前期には「社会調査法」「高齢者と地域福祉」をテーマにした2つのゼミを履修。前期後期で異なるゼミを、また一度に複数のゼミが履修できるため、興味に合わせて積極的に学ぶことができます。将来はまだ漠然としていますが、公務員として社会に貢献したいと考えています。



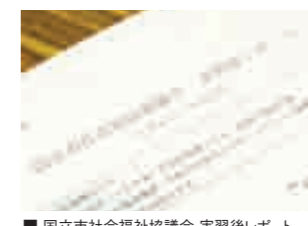
【人文・社会系】社会学コース3年社会福祉学分野
(2010年10月取材)
豊島 将崇



■ 人文・社会系のある5号館



■ 社会人類学実習（伊豆大島にて）



■ 国立社会福祉協議会 実習後レポート



■ 人文・社会系図書室

心理学・教育学コース

http://www.hss.tmu.ac.jp/030.html



人間らしいところと関係のしくみとその形成を探究する

[心理学分野]

現代心理学では、「人間が、家族を含めた社会環境の中でどのような関わりをもちながら適応するのか」が重要なテーマになっています。心理学では、このような課題に対して、多面的な角度から研究に取り組んでいます。

本学には、実験心理、社会心理、発達心理、臨床心理の領域があり、学生は観察、実験、調査、面接といった方法を用いて、この人間の心理、行動の研究を行います。心のはたらき、経験の意味さらには行動の仕組みについて分析し、洞察を深めていきます。

[教育学分野]

教育学は、人間の成長に関わる諸科学を統合しながら、乳幼児から子ども・青年、成人までの発達と学習のあり方、それを支える学校など諸制度のあり方を考えます。

教育政策・制度、教育実践と日本と西洋の教育史、青年期の学校と社会・労働、比較教育と臨床教育学、多文化教育、社会教育、障がい児等を対象とする発達と教育など、多彩な授業や実習を用意しています。そして何よりも学生が3年間をかけて「自分のテーマ」を見つけ、自立した学習者として追求していくことを重視しています。

カリキュラムの特色

心理学分野では、2・3年次に心理学の基礎および実験、実習など、心理学を研究する上で必要な調査方法や分析方法などのスキルを身につける講義や演習があります。3・4年次に自分の研究テーマを絞り、担当教員のもと、卒業論文に向けて学びを深めていきます。

教育学分野では2年次の「教育学入門」で教員全員の研究内容を学び、

教育学への基礎知識を深めます。選択科目が多く、各自の興味に即した講義を自由に学ぶことができます。養蚕文化や人形浄瑠璃を学ぶ授業など、個性的な学びの経験もしています。また、その他の人文・社会系コースの科目を取ることもできます。

求められる学生像

心理学も教育学も、人の心を深く知り、理解することが大切です。そのためには人に興味があるだけでなく、社会や文化に関する関心を持ち、広い視野で物事を考えられることが必要です。柔軟な思考と、新鮮

な問題意識をもち、行動力のある人。人と接することが好きで、人の役に立ちたいと思っている人。人についてもっと深く探究したいと思っている人。ぜひ本コースでその知的探究心を満たしてください。

履修モデル

区分		1年	2年	3年	4年
心理学分野	都市教養科目群	基礎ゼミナール、英語教育、情報教育、都市教養プログラム (p.022参照)			
	共通基礎教養科目群	共通教養科目、理工系共通基礎科目			
	必修科目		心理学概論Ⅰ・Ⅱ 心理学方法論演習Ⅰ 心理統計Ⅰ・Ⅱ	心理学方法論演習Ⅱ	心理学卒業論文 心理学方法論演習Ⅲ
	専門教育科目群	選択必修科目	心理学総論科目群から選択	心理学総論科目群から選択 心理学特殊講義科目群から選択 心理学演習科目群から選択	心理学特殊講義科目群から選択 心理学演習科目群から選択
	自由科目	心理学・教育学コース提供科目 その他の人文・社会系コース提供科目	心理学・教育学コース提供科目 その他の人文・社会系コース提供科目	心理学・教育学コース提供科目	

※「心理学総論科目群」：実験心理学、発達心理学、臨床心理学、社会心理学、認知心理学
 ※「心理学特殊講義科目群」：実験心理学特殊講義、発達心理学特殊講義、臨床心理学特殊講義、計量心理学特殊講義、医療心理学特殊講義、社会心理学特殊講義、認知心理学特殊講義、心理学特殊講義、応用心理学特殊講義
 ※「心理学演習科目群」：実験心理学演習、発達心理学演習、臨床心理学演習、計量心理学演習、医療心理学演習、社会心理学演習、認知心理学演習、心理学演習、応用心理学演習
 ※「心理学方法論演習Ⅱ」の履修は「心理学方法論演習Ⅰ」の単位を修得していることが必要です。

区分		1年	2年	3年	4年
教育学分野	都市教養科目群	基礎ゼミナール、英語教育、情報教育、都市教養プログラム (p.022参照)			
	共通基礎教養科目群	共通教養科目、理工系共通基礎科目			
	必修科目		教育学入門		教育学卒業論文 教育研究法
	専門教育科目群	選択必修科目	教育心理学、生涯学習概論Ⅰ・Ⅱ 教育原理Ⅰ・Ⅱ	学校文化研究、比較教育学 社会教育計画論	教育行政学、教育史 多文化教育学演習、臨床発達学演習
	自由科目	教育学A・B	心理学・教育学共通科目 教職専門科目	心理学・教育学共通科目 教職専門科目	心理学・教育学共通科目 教職専門科目

取得できる資格・免許

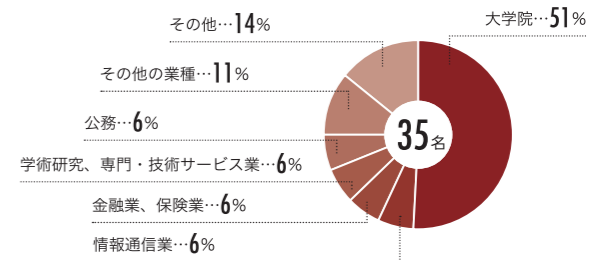
学士（心理学）：心理学分野の卒業を要件として取得できます。
学士（教育学）：教育学分野の卒業を要件として取得できます。

心理学分野：認定心理士の資格が取得できます。

教育学分野：教員免許（高校一種／公民、中学一種／社会）、社会教育主事など

両分野：学芸員、家庭裁判所調査官、児童施設で働く児童厚生員、養護施設などの職員の受験資格が取得できます。

卒業後の進路 (2010年3月卒業生実績)



2009年3月、2010年3月卒業生実績

【就職先】 ベネッセコーポレーション、NTTコムウェア、トーマツ、中原証券、中央労働金庫、中外製薬、西武鉄道、教育開発出版、日本興亜損害保険、日本生命保険、明治田田生命保険、ジェイアール東日本企画、日本システムウェア、三井倉庫、三菱UFJニコス、総務省、東京消防庁、立川市役所、小金井市役所、川崎市役所、船橋市役所 など

【進学先】 首都大学東京大学院、東京大学大学院、京都大学大学院、お茶の水女子大学大学院 など

在校生インタビュー

今まで自分が受けてきた教育について多面的な視点からアプローチします。

入学当初は心理学を学びたいと思っていましたが、教養科目を学んでいる過程で「人」を対象としている教育学に魅力を感じるようになりました。私は子どもの頃に子ども会やボランティア活動に参加していたので社会教育の分野に興味があり、「社会教育計画論」の授業では公民館の活動などに触れることができて、とても面白かったです。教育学は決して教員養成のための分野ではなく、今まで自分が学校や社会の中で受けてきた教育をさまざまな視点から見られるようになることが大きな魅力です。本コースは学生同士の仲が良く、和やかな雰囲気なので充実した学生生活が送れています。



【人文・社会系】心理学・教育学コース3年
教育学分野
(2010年10月取材)

神田 夕貴乃

多彩な心理学実験を通して人間の心の不思議さに触れることができます。

心理学分野では「心理学方法論演習Ⅰ」を通してさまざまな分野の心理学実験を行い、心理学における多様な手法を学んでいきます。ほとんどがはじめての体験で、レポート作成も大変でしたが、人間の行動や思考、感情の不思議さに触れることができて、興味深く学ぶことができました。現在、認知心理学の分野を専門に学んでいて、卒業研究では人間の感情と音楽や映像との関係性について研究したいと考えています。心理学にはさまざまな専門分野がありますが、本コースでは自分の興味ややりたいことに沿って学びを深めていきます。また、先生方が親身になって指導やフォローしてくださることも大きな魅力です。



【人文・社会系】心理学・教育学コース3年
心理学分野
(2010年10月取材)

細川 拓郎



■ 海外でのゼミ討論



■ 学校見学と授業参観



■ 「心理学方法論演習Ⅱ」の研究発表会



■ 照明と見え方についての実験

国際文化コース

http://www.hss.tmu.ac.jp/040.html



グローバルな舞台での活躍を目指し、地球サイズの視点から文化を理解する

自らの文化と異文化を学ぶことは、多様化する国際社会の中で生きる上で、互いの理解を深める重要な役割を果たすこととなります。

本コースでは、人文学の基礎となる哲学、歴史、文学、文化、言語、芸術の視点から、5つの分野、10の領域を設け、国際的な知識を深めるとともに、それぞれの専門分野での学問的探究を行います。

さらに歴史と思想、宗教と社会、言語と文化、時間と空間など、各分野との横断的な学びも積極的に取り入れ、これまでにない複合的な視点で、各分野への理解をさらに深めます。

他大学にはない「表象言語論分野」をはじめ、教員の専門は幅広く、学生の興味や目的に応じた、充実した講義が行われています。

分野紹介

哲学分野

[哲学 / 西洋古典学]

西洋哲学全般、すなわち、(1) 古代ギリシアから、中世、近世、近代の英・仏・独の哲学、そして現代哲学の諸潮流（現象学、実存主義から大陸哲学に至る流れ、英米に発しつつ国際化している分析哲学、等）まで、(2) また分野で言えば、形而上学・認識論・倫理学・宗教哲学・聖書研究から、言語哲学・論理学といった多様な領域にわたり、各自の興味のまままったく自由に、しかし深く学びます。古代ギリシア・ラテンの語学・文学を習得し、西洋文学・西洋文明全般の源泉を研究する西洋古典学も本格的に学ぶことができます。原典を綿密に読みこなし、著者の真意を掘り下げて理解して明快な日本語の論証に再構成する能力は、現代社会に真に必要とされるスキルと言えるでしょう。

歴史・考古学分野

[歴史 / 考古学]

歴史・考古学分野では、東京都立大学以来の自由で自主的な伝統のもとに、日本史・アジア史・西洋史・考古学の各領域で研究と教育が進められています。そこでは時代・地域ごとにさまざまな問題の追究を通じて、人類史・世界史の立場から歴史を総合的に把握することが目標とされています。学生諸君は、個別の講義・演習・実習を履修するとともに、新2年次ガイダンスに始まって3・4年次には卒業論文執筆のために開かれる各種のガイダンスに出席することによって、歴史学と考古学の本質をめぐり深い理解に到達することができます。

授業の合間には、合宿なども行われています。卒業生は、教職や一般企業に就職するほかに、大学院進学者も多数います。



アジア・日本文化論分野

[日本文化論]

日本語学、古事記や万葉集、雨月物語や八犬伝、近代文学や現代文学を研究する専門スタッフが在籍し、古代の文字表現論、歌の表現論、近世の学芸と小説、近代の小説と批評、表象文化などに関心を寄せています。学生は少人数のゼミ形式の授業でスタッフと議論をしながら、文献資料の扱い方、文学作品の読解や批評の方法などを学び、古典から現代文学まで自由に自分の研究テーマを深めていくことができます。アジア・日本文化論分野の中で、中国文化と併せて、日本語・日本文学を学ぶことができるのも特色です。ことばに関心のある人、本を読むのが好きな人を歓迎します。

[アジア文化論]

実利ばかりを求める価値観が、世界中のあちこちで衝突を生み出しております。このような時代にこそ「虚学」である「文学」（実際には文化研究を指しているとお考えください）の価値が浮き彫りになるでしょう。数年来、日中関係は緊張度を増したかに見え、その間、お互いの文化に対する認識不足もあらわになってきました。今こそ両者が見つめ合い理解を深めるべき時ではないでしょうか。

当教室は悠久の歴史をもつ中国を含むアジアの文化に、言語、文学、思想、芸術などの側面からさまざまな方法でアプローチしております。所属スタッフが力を入れて研究している分野をキーワード的に列挙すると、中国語（古典中国語、現代語文法、中国語史）、中国文学（古典文学、近現代文学）、満洲学、上海学、影絵芝居、中国映画、香港映画等々があります。地道な努力の先に得られる喜びに、あなたの青春を捧げる価値はあるでしょう。

欧米文化論分野

[英語圏文化論]

イギリスとアメリカの言語文化を教育研究の中心としながらも、アフリカ・インドなどの英語圏の文化と文学も射程に収めています。これらの地域の歴史と言語文化に関する幅広い知識の教授を講義科目で行うとともに、演習科目では学生一人ひとりがそこから、現代を創造的に生きるための問題を発見し、解決する能力を涵養することを目指しています。さらに、そのような能力の基礎となる言語運用能力、つまり文献読解力、コミュニケーション能力、自己表現力を高めるための科目が多く用意されています。言語と文化を異質し相対化できる批判精神により、学生各自が現代を生きるための創造的ヴィジョンを構築することを教育目標としています。

[ドイツ語圏文化論]

ほとんどの学生が1年次の時にゼロから学び始めたドイツ語の知識を基礎として、その言語的な興味をドイツ語圏の文学、言語学、思

想他、文化全般にわたって展開する場です。ドイツ語で書かれたもの、話されるものすべてを扱うことができます。自由に雑多に学びたい意欲的な学生を歓迎します。

ウィーン大学との交換留学制度があり、ネイティブスピーカーによる会話や講義の授業も充実していて、ドイツ語の実践的な運用能力を高めることにも力を注いでいます。授業の大半は少人数のゼミ形式。学生の自主性を重んじながら、きめ細かな教育・指導を行っています。

[フランス語圏文化論]

フランスは、西欧文明の成熟のひとつの極であるとともに、常に新しい文化的試行の場でもあります。フランス語圏文化論教室は、長い歴史と厚みをもつこの重層的な文化を広い視野のもとに捉え、言語、文学、思想、芸術など様々な分野を研究対象にしています。大学院、学部ともに、自由闊達な雰囲気の中、多様なテーマを掲げて講義や演習を行っています。堅実なテキスト研究の精神を受け継ぎ、それを実践していること、深く独創的な問題意識と論証手続きの厳密さを重視していることが当教室の特徴です。アメリカ一辺倒の情報分布に満足できない意欲的な諸君を歓迎します。

表象言語論分野

[表象文化論]

学問のつみかさねてきたものを踏まえ、いままでの学問の枠にとらわれない研究を目指します。「作者」の存在が見える芸術表現にかぎらない、この世界にあらわれ、私たちの感覚がとらえることのできる「かたち」のすべてを対象に、それがどんなふうに生みだされ、そこにどんな構造や関係が隠されているかを探求します。研究とともに「創作」による取り組みにも道をひらきます。映画・漫画・美術などを対象とする視覚文化論、詩を中心とする文学を広い視野でとらえなおす言語メディア論、歴史・政治・社会へと関心をひろげる文化史研究、そして言語を新しい視点からとらえる言語科学を4つの柱として、多様化する文化の現在に挑みます。

[言語科学]

赤ちゃんはどのようにして母語を身につけていくのでしょうか。外国語はどうして難しいのでしょうか。ことばは人間だけのものなのでしょうか。動物もことばを話すのでしょうか。これらを明らかにするために、言語科学ではことばを科学的に探究します。言語の仕組みについての理論的研究と、行動実験や脳の機能の計測などの先端的研究に取り組んでいます。また、初歩から高度な専門知識と技能へ至るためのカリキュラムが整備されており、そのための設備も充実しています。外国語教育に関する研究も行うことができます。文系においてこれらのことが本格的に学べるのは、本学の言語科学だけです。文系・理系を問わず、新しいことに挑戦したい学生諸君を歓迎します。

国際文化コース

http://www.hss.tmu.ac.jp/040.html



カリキュラムの特色

1年次は全員が基礎教養科目を学び、2年次より各分野に分かれます。それぞれの専門分野を学ぶだけでなく、横断的な受講も積極的に進め、例えばフランス文化を学びたい学生は、歴史・考古学分野で西洋史を取り、

欧米文化論分野でフランス語圏の文学論を学ぶ、などの選択もできます。考古学では発掘調査など、実習の授業も取り入れています。4年次の卒業論文・卒業制作は全分野とも必修です。

求められる学生像

国際的な舞台でも活躍できるような、自分の意見をしっかりと伝え、また異なる意見にもしっかりと耳を傾けることができる人。コミュニケーション能力がある人。世界の様々な文化にふれてみたい人。また、今は

自分の進路を決めかねている人も、多様な選択肢から自分の学びたいものが見つかるはずです。

履修モデル

区分	1年	2年	3年	4年
都市教養科目群	基礎ゼミナル、英語教育、情報教育、都市教養プログラム (p.022 参照)			
共通基礎教養科目群	共通教養科目、理工系共通基礎科目			
哲学分野		古代中世哲学史Iまたは近世哲学史I 古代中世哲学史IIまたは近世哲学史II 哲学基礎演習Iまたは西洋古典学概説I 哲学基礎演習IIまたは西洋古典学概説II	哲学史演習(古代・中世・英米・ドイツ・フランス) 哲学演習(論理哲学、言語哲学) 倫理学演習、西洋古典学演習 哲学討論 哲学史特殊講義、倫理学特殊講義	哲学史演習(古代・中世・英米・ドイツ・フランス) 哲学演習(論理哲学、言語哲学) 倫理学演習、西洋古典学演習 卒業論文、哲学討論
歴史・考古学分野		歴史学概論、歴史学方法論 日本史学演習、東洋史学演習 西洋史学演習、考古学演習 歴史・考古学分野特殊講義 考古学概論、考古学方法論 古文書学、日本文化史、日本史概説 外国史概説(東洋史)から選択 外国史概説(西洋史)から選択	日本史学演習、東洋史学演習 西洋史学演習、考古学演習から2科目以上選択 歴史・考古学分野特殊講義 考古学実習、古文書学 歴史調査法から選択	卒業論文指導、卒業論文演習・特殊講義科目から選択
アジア・日本文化論分野		日本語文化概論I・II 日本古典、中国言語文化論概論 中国文学概説、中国語学概説 中国文化論、朝鮮文化論、漢文学	日本文学講義、日本文学史 日本文学演習、日本文化特殊講義 日本語学演習、日韓関係論 中国文学史 中国文化演習などから選択	卒業論文 特殊講義科目などから選択
欧米文化論分野		英語学概論・ドイツ語学概論・フランス語学概論 (英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏) 文化史A (英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏) 文化史B (英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏) 文化論A (英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏) 文化論B (英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏) 文学論A (英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏) 文学論B (英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏)	文学論A (英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏) 文学論B (英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏) 文化論A (英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏) 文化論B (英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏) 文学演習 (英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏) 文化演習 (英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏) 文化演習 英語史、ドイツ語史、フランス語史 ※それぞれ同一語圏を選択の上、 上級語科目、特殊講義を履修	卒業論文 (英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏) 文学演習 (英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏) 文化演習
表象言語論分野	表象言語論基礎演習	表象言語論基礎演習 表象文化論入門、空間表象論 外国語文献講読1・2・3 表象文化論演習、表象文化史A・B 言語学概論、言語学概論 言語音韻論、言語認知科学 生成言語理論、表象言語の諸問題	外国語文献講読1・2・3 表象文化論演習、空間表象論 表象文化史A・B、言語構造論 言語音韻論、言語認知科学 生成言語理論、表象言語の諸問題	卒業論文 卒業研究・制作 表象文化論演習 表象言語の諸問題

取得できる資格・免許

学士(文学)：哲学分野、アジア・日本文化論分野、欧米文化論分野、表象言語論分野の卒業を要件として取得できます。
学士(史学)：歴史・考古学分野の卒業を要件として取得できます。

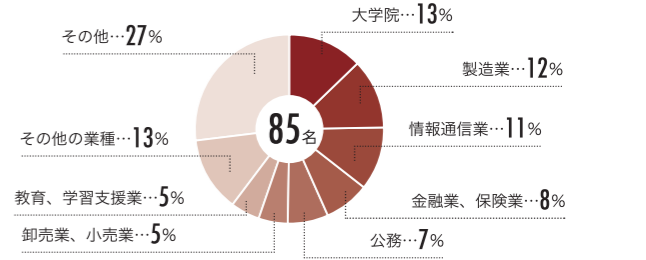
哲学分野：教員免許(高校一種/公民、中学一種/社会)

歴史・考古学分野：教員免許(高校一種/地歴、中学一種/社会)

アジア・日本文化論分野：教員免許(高校一種/国語・中国語、中学一種/国語・中国語)

欧米文化論分野：教員免許(高校一種/英語・ドイツ語・フランス語、中学一種/英語・ドイツ語・フランス語)

卒業後の進路 (2010年3月卒業生実績)



2009年3月、2010年3月卒業生実績
[就職先] JR東日本、東京海上日動火災保険、明治安田生命保険、AIGスター生命、アメリカンファミリー生命保険会社、ソニー生命保険、JA共済、日本放送協会(NHK)、全日本空輸(ANA)、川崎重工、大成建設、NTTコムウェア、KDDI、日立ビルシステム、ゆうちょ銀行、メトロ、富士興産、エヌ・ティ・ティ・システム開発、JSコーポレーション、読売旅行、リコーソフトウェア、西武不動産、東芝、ネスレ日本、光村図書出版、教員(東京都)、外務省、文部科学省、東京都庁、八王子市役所、立川市役所、調布市役所 など
[進学先] 首都大学東京大学院、一橋大学大学院、慶應義塾大学大学院 など

在校生インタビュー

ウィーン大学との交換留学制度を利用して本場で実践的な力を身につけたいと思います。

1年次に受講したドイツ語の授業で、ウィーン大学の交換留学制度を知り、強く心を惹かれて今はドイツ語圏文化論を専門領域で学んでいます。授業は少人数のゼミ形式。ネイティブの先生の話を取り、自分もドイツ語で発言します。ドイツ人留学生のチューターをしているため、お互い語学を教え合いながら、日々学んだドイツ語も実践しています。来年の留学が決まってから、手続きや現地の生活などは担当の先生が相談にのってくださるので安心です。留学では語学力を養うほか、合唱部に所属しているので、ウィーン国立音楽大学の聴講システムを利用して声楽の授業も受講し、歌唱技術などさまざまな力を磨きたいと思っています。



【人文・社会系】国際文化コース2年
欧米文化論分野
(2010年10月取材)
長嶋 明理

答えが一つではない、それが哲学の魅力。討論形式の授業でさらに興味が増しました。

高校の倫理の授業に興味を持ち、大学では哲学分野を専門領域で学んでいます。哲学は理路整然と一つの答えに辿り着く学問ではありませんが、私はそこが面白い部分だと思います。討論を行う授業では、哲学者の思想などから議題を取り上げ、一人の学生が調べ、考察して発表。それに対して学生と先生が意見を出します。議論で出たさまざまな意見から自分の考えを組み立てていく過程がとても楽しいです。3年次からは文献を読む授業も多く、私はドイツ語を勉強していることもあり、これからドイツ哲学の学びを深めたいと思います。卒業後は大学院へ進み、将来は先生になることが目標。できれば大学の教壇に立ちたいと考えています。



【人文・社会系】国際文化コース3年
哲学分野
(2010年10月取材)
新田 実



■ 5号館内部



■ アメリカ文学の講義



■ 出土遺物をもとに復元(考古学)



■ 書庫の中



みんなの共通の目標を実現するために。
さまざまな社会の「基準」を追究する。

「法律」とは、社会の構成員に共通の目標を実現するための一つの手段です。治安や自然環境、社会保障、教育の機会などに関する目標を達成するには、一定の基準に基づいて社会の構成員の行動を統制する必要があるからです。しかし、法律はある目標を達成するのに必要な社会行為の基準を示してはいますが、その基準が具体的にどのような場合に当てはまるかは漠然としか表記されていません。そこで、特殊な法律用語によって抽象化された社会の基準を解釈する能力を養うことが必要であり、それが法学を学ぶ目的なのです。

本学系には4つの大きな特色があり、1つ目は「少数教育」で、学年ごとでは学生4人に教員1人の割合となっています。2つ目は「バリアフリー教育」。法学コースと政治学コースの垣根が低く、自由度の高い履修が可能です。3つ目は「実務教育の重視」で、全国トップクラスの合格率を誇る本学法科大学院の教員が学部教育も担当しています。また、都庁や官公庁の職員による講義も実施されています。4つ目は「教員スタッフの若さ」です。スタッフの4割強が45歳以下で、しかも国内外の学会で活躍する優秀な研究者が揃っています。

現代社会は環境破壊など経済発展の「負の遺産」を背負うようになっています。そのような状況下で法や政治の重要性はますます高まっており、冷静な目で社会を分析することに関心があり、より良い社会づくりを真剣に考えている人々には、ぜひ本学の恵まれた環境のもとで法と政治を学んで欲しいと願っています。

法学系長 山田 高敬

法学系

法律学コース

政治学コース

系の考え方

1年次には、教養科目の他、専門教育科目として、憲法、民法、刑法、政治学を学ぶことで、将来進むべき方向を確認し、2年次進級時に「法律学コース」「政治学コース」のいずれかを選択します。両コースとも、他のコースの専門科目を自由に選択することができ、卒業単位としても認められます。幅広い知識と教養の修得により、卒業後の選択肢を広げると同時に、柔軟な発想や、多角的な視点を身につけることができます。

系の特色

法律系の学問では、専門が細分化される傾向にあり、自分の興味や関心、将来の目標に合わせて、必修科目の数を抑え、講義の選択の自由度を高くしています。また専門ゼミの選択については、学生の多様な関心に対応できるように、複数のゼミを選択することを可能としており、他大学にはない本学の大きな特色となっています。学生数に対する教員数が充実しており、少人数の講義・ゼミによるきめ細かな指導を行っています。成績優秀者は3年修了時に大学院に飛び入学する制度もあります。

法律学コース

http://www.law.tmu.ac.jp/

客観的な眼を養い、社会に貢献を！

法律を学ぶことには、どんな意味があるのでしょうか。私たちの暮らす社会は、家庭や地域のレベルから、国や国家間の問題まで、さまざまな法律が存在し、絡み合っており立っているといえます。法律の知識をもつということは、社会に貢献できる教養を備えることともいえます。

法律学コースでは、基本的な法はもとより、多様な領域の法律学を学び、また関心ある分野での専門的な研究を行います。こうした学びの中で、先端的な事象を的確に判断する能力や、正義がぶつかりあう中で両方を平等に見る能力、公平な立場を堅持するバランス感覚も養

うことができます。

将来は、裁判官や検察官、弁護士として法曹界で活躍する道や、公務員として国の法の制定に関わる仕事に携わる、あるいは民間企業で法律の知識を活かした仕事に就くなど、多様な舞台で能力を発揮できる可能性を秘めているのが法律の分野です。また、より良い未来を作っていくために、新しい制度や法を作っていくことも、法律家の大きな役割のひとつです。

さらに、もっと深く法律を勉強したい、法曹界を目指したいという希望をもつ学生には、本学併設の法科大学院に進む選択肢もあります。

カリキュラムの特色

段階的に法律の知識や法的な思考を学ぶためのカリキュラムです。1年次では法律の基本となる憲法、民法、刑法を学び、法的な考え方の基本をしっかりと身につけます。2年次以降、より幅広い科目を学びます。

3年次より演習（ゼミ）が始まり、複数の受講も可能です。ゼミ数は20あり、それぞれ専門分野の教員による指導が行われます。「国際法」「法哲学」など、多彩な内容で、学生たちの知的好奇心を満たします。

求められる学生像

法律学は一朝一夕には身につけません。じっくりと、コツコツ学ぶ、積み重ねていく勉強こそが大切です。しっかりとした目標をもって、粘

り強く学べる人。また、何事にも興味をもち、新しい学問、新しい時代を切り拓いていきたいという熱意ある、意欲あふれる人をまっています。

履修モデル

区分	1年	2年	3年	4年
都市教養科目群	基礎ゼミナール、英語教育、情報教育、都市教養プログラム (p.022 参照) (法学入門、日本国憲法、民法入門、刑事法入門、現代政治入門、政治理論入門)			
共通基礎教養科目群	共通教養科目			
専門教育科目群	憲法I 民法I 刑法I 政治学	憲法II 民法II 商法I 刑法II 行政法I 国際法I	民法III 民事訴訟法 商法II 刑事訴訟法 行政法II 労働法 法社会学 経済法 知的財産法 行政学 法律学政治学演習	民法IV 法哲学 法制史 刑事学 情報法 消費者法 法律学政治学演習

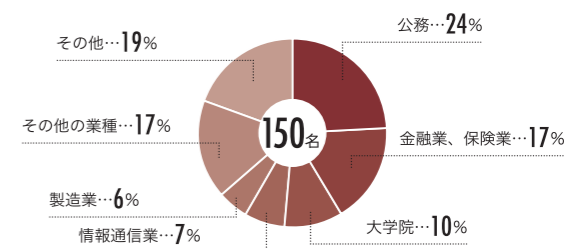
取得できる資格・免許

学士（法学）：法律学コースは都市教養学部所属していますが、本コースの卒業生は、一般の法学部卒業生と同様に、学士（法学）が取得できます。

中学校教諭一種免許状（社会）：定められた教職に関する科目と教科に関する科目の単位（講義・演習・実習）の修得ならびに、卒業を要件として、教員免許状が取得できます。

高等学校教諭一種免許状（公民）：定められた教職に関する科目と教科に関する科目の単位（講義・演習・実習）の修得ならびに、卒業を要件として、教員免許状が取得できます。

卒業後の進路 (2010年3月卒業生実績)



2009年3月、2010年3月卒業生実績

【就職先】 明治安田生命保険、東京海上日動火災保険、三井住友海上火災保険、日本生命保険、みずほフィナンシャルグループ、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、住友信託銀行、野村證券、大和証券、アリコジャパン、三菱UFJニコス、NEC（日本電気）、新日鉄ソリューションズ、住友化学、全日本空輸（ANA）、大日本印刷、日本放送協会（NHK）、日本ビクター、パナソニック、長谷工コーポレーション、トヨタ自動車、日野自動車、富士通、三菱重工、東芝、ヤマハ発動機、有斐閣、明治図書出版 近畿日本ツーリスト、総務省、特許庁、東京地方裁判所、国税庁、東京都庁、神奈川県庁、京都府庁 など

【進学先】 首都大学東京大学院、東京大学大学院、横浜国立大学大学院、慶應義塾大学大学院 など

在校生インタビュー

法律を学ぶ楽しさを知るとともに 公務員試験にも合格できました。

行政書士が活躍するテレビドラマを観てあこがれたのが法律を学ぼうと思ったきっかけでした。入学当初は聞き慣れない法律用語に苦戦しましたが、学んでいるうちに個々の知識の関連性や法の全体像が見えてきて、法律を学ぶ楽しさが分かってきました。また、裁判の傍聴を通して理論と現場での運用の違いなども知ることができました。就職は国家公務員試験二種に合格し、総務省で地域活性化などに携わる部署で働くことになっています。法律学コースは公務員試験の受験者が多く、情報交換できるメリットがあります。また、大学サイドでも説明会を頻繁に実施するなどサポート体制が充実していたことも大きなプラスになりました。



【法学系】法律学コース4年
(2010年10月取材)

清水 慶子

法律学と政治学をコースの枠を超えて 学べるメリットを実感しました。

法律学や政治学を学ぶ難しさは一義的な答えがないことですが、逆にそれが面白さにもつながっています。私の場合、特に社会の動きと密接に関わっている政治分野に興味が出てきて、3年次以降は政治学系の科目を中心に学びました。4年次の「国際政治」では国同士の紛争や利害関係について過去の事例をマクロな視点から分析する中で、私たちが世界を構成する一員であるとともに、一要素に過ぎないことを実感しました。このようにコースの枠を超えて法律学と政治学を両方学べるのが本コースの魅力であり、先生方もこだわりや情熱を持っている方ばかりです。将来は国会図書館の事務職として大学での学びを活かせたらと思っています。



【法学系】法律学コース4年
(2010年10月取材)

雨宮 百合子



■ 演習風景



■ 判例集・雑誌を閲覧できる法政研究室



■ 講義風景



■ キャンパス風景

政治学コース

http://www.law.tmu.ac.jp/

公務員として、社会人として、活躍するジェネラリストを目指す

伝統的に少人数で密度の濃い授業が受けられることで有名な政治学コース。

社会で活躍できるジェネラリスト（広範囲な知識・経験をもつ人）を育成するために、「人々が社会生活を営む上で、国や地方自治体はどんな役割を果たしているか?」「日本は世界はどのように動いているか?」など法律、政治をバランスよく学びながら、グローバルな視野をもち、社会で活躍できる力を身につけます。

公務員を目指す学生にとって必要なカリキュラムが充実しているのはもちろん、1年次から「都庁の仕組みと仕事」など、公務員の現場の声を直接聞くことができるカリキュラムがあるのも首都大学東京ならではです。

また、法律学コースとの垣根が低く、法律学コースの学生と一緒に法律科目を学ぶことで、法科大学院への進学や法曹界へ進む学生も少なくありません。

カリキュラムの特色

政治学コースのカリキュラムは、ジェネラリストの養成を目指したものです。必修科目は、政治科目と法律科目の中から、基本的なものと公法（政治学・行政学・日本政治史・国際政治・憲法一部・行政法一部・国際法一部・民法一部）に絞っていますので、その他の履修科目については、政治や行政への知的関心、適性、希望進路に合わせて、自由に組み立てることができます。

また、キャリア官僚の登竜門となる国家公務員採用Ⅰ種試験（行政・法律・経済）が2006年度より大幅に変更になりました。とりわけ「公共政策」という政治学系の科目が加わったことは重要です。そこで、政治学コースは、政治や権力といった公的な仕組みとその任務について、理論的にも実践的にも深く理解できるようにカリキュラムを組んでいます。

ます。都市教養プログラムに、「都庁の仕組みと仕事」「官庁の仕組みと仕事」を提供して、1年次のうちから、公務員の現場の声を直接聞くことができるようにしています。公務員の仕事に興味をもてたら、政治学や公法学の専門科目を受講してみましょう。

「都庁の仕組みと仕事」は、都が設置した大学の特色を活かして、都の職員を招いて、東京が抱える問題や都の政策や組織について、お話しただいています。「官庁の仕組みと仕事」は、東京都立大学の卒業生の官僚の方に、毎回、それぞれの省庁の政策や仕組みについてお話しただいています。公務員を目指す学生には先輩からの良きアドバイスを受けられるように、そうでない学生にとっても東京都立大学の卒業生の方との交流が図れるように配慮しています。

求められる学生像

基本的な学力をきちんと身につけることが大切です。しかし、これは単に成績がよいということ以上に、地に足のついた、学修の努力を惜しまないという姿勢が望まれます。

また、法律学や政治学は、本を読んでその理論を理解することと、そこで得られた知識をもとに論理的に考え、その結果を説得的に説明する

ことが必要となります。そのためには、まず、じっくりと腰を落ち着けて読書をする習慣を身につけるようにしましょう。また、政治学や公法学を学ぶためには、さまざまな政治や社会の現象に対する知的好奇心と、自分自身で考える習慣が大切です。

履修モデル

区分	1年	2年	3年	4年
都市教養科目群	基礎ゼミナール、英語教育、情報教育、都市教養プログラム (p.022 参照) (法学入門、日本国憲法、民事法入門、刑事法入門、現代政治入門、政治理論入門)			
共通基礎教養科目群	共通教養科目			
専門教育科目群	憲法Ⅰ 民法Ⅰ 刑法Ⅰ 政治学	行政学 日本政治史 現代日本政治 行政法Ⅰ 国際政治 国際法Ⅰ 西洋政治史 憲法Ⅱ 民法Ⅱ	日本政治思想史 西洋政治思想史 比較政治 都市行政論 法律学政治学演習	行政法Ⅱ 労働法 商法Ⅰ 法律学政治学特殊講義 法律学政治学演習 政治学卒業論文

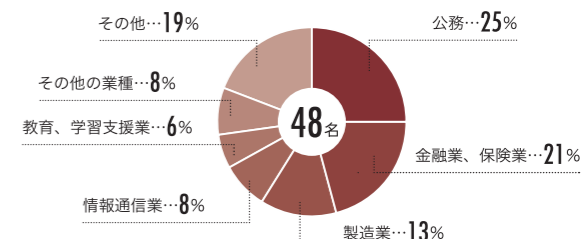
取得できる資格・免許

学士（法学）：一般の法学部卒業生と同様に、学士（法学）が取得できます。法学科目は、法律学コースと共通しており、法曹を目指すにも有利です。

中学校教諭一種免許状（社会）：定められた教職に関する科目と教科に関する科目の単位（講義・演習・実習）の修得ならびに、卒業を要件として、教員免許状が取得できます。

高等学校教諭一種免許状（公民）：定められた教職に関する科目と教科に関する科目の単位（講義・演習・実習）の修得ならびに、卒業を要件として、教員免許状が取得できます。

卒業後の進路 (2010年3月卒業生実績)



2009年3月、2010年3月卒業生実績

[就職先] みずほフィナンシャルグループ、りそなグループ、SBIホールディングス、八千代銀行、ゆうちょ銀行、商工中金、大和総研ビジネス・イノベーション、伊藤忠エネクス、NEC（日本電気）、カシオ計算機、川崎重工、住友生命保険、全労災、東京電力、日野自動車、藤田観光、三井不動産住宅サービス、三菱化学エンジニアリング、U.F.J日立システムズ、明治製菓、ディスコ、京王百貨店、毎日新聞社、日刊工業新聞社、中部日本放送、学習研究社、国税庁、東京税関、公正取引委員会、東京都庁、警視庁、栃木県庁、世田谷区役所 など

在校生インタビュー

活発な議論で行政法の問題点を探るうち「自分で考える力」が鍛えられました。

警察官志望のため法学系に進学しました。2年次から政治学コースを選択したのは、1年次の「政治学」の授業に興味を覚えたためでしたが、法律学コースの専門科目も選択可能で、法律もしっかり学ぶことができます。行政法のゼミでは聴聞と弁明を題材に、生活に密着する行政にどのような法的制約や問題点があるかを探りました。政治学の答えは一つではなくさまざまな見方がありますが、あるべき方向性を示すことが求められる中で、自分自身で考える確かな力が身につきました。授業は少人数なので、活発に意見を交えることで、コミュニケーション能力を磨きつつ、政治学や法律学を深く学んでいくことができます。



【法学系】政治学コース3年
(2010年10月取材)
廣瀬 哲也

公務員志望の仲間と情報交換したり、励まし合いながら学ぶことができます。

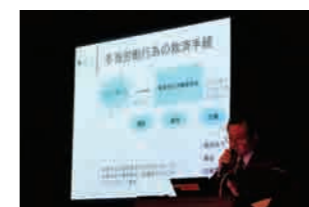
法学系の大きな魅力は所属コースに関係なく複数のゼミを受講できることです。私もいくつかのゼミを選択しましたが、特に興味を持った演習を受講した際には、自主研究のテーマとして取り組んだ「景観行政」についての調査・分析を通して、客観的な視点で物事を見る目を養うことができました。また、情報を収集・取捨選択・整理・分析する力も伸ばすことができたと思っています。政治学コースは公務員志望の学生が多く、仲間同士で互いに情報交換したり、励まし合いながら学ぶというメリットもあります。将来は公務員として住民や企業の人たちと一緒に地域活性化に取り組む仕事ができたらいいですね。



【法学系】政治学コース4年
(2010年10月取材)
森戸 千陽



■ 演習風景



■ 東京都立大学卒業の現役公務員の方による授業



■ 教員と学生との交流



■ 専門書が豊富な書庫



新しい社会をデザインし、変革と創造を遂行するために、高度の専門能力と豊かな教養を兼ね備えたリーダーの養成。

経営学・経済学は、私たちが住んでいる複雑な現代社会のメカニズムを理解し、その知識をより良い社会をデザインしていくために活用していこうとする学問です。良い社会を実現するには、目指すべき社会を描き出す戦略的思考と、それを実現するための計画策定、計画を実行する際の様々なマネジメントを行う必要があります。私たちは、そのために企業や行政機関といった組織体をつくり、また有効な市場メカニズムを活用していきます。

経営学系では、経営学と経済学の2つのコースを設け、経営学は主に企業を中心とした組織体の戦略やマネジメントの視点から、経済学は主に市場メカニズムを中心とした視点から、現代社会の解明を目指しています。また「良い」社会とは何かを考えるには、歴史的視点が不可欠です。歴史はそれが繰り返すからではなく、それが現代の問題を生むからこそ、学ぶ必要があります。

経営学系では、このような複雑な社会を理解するために、数学やコンピュータ科学などの科目を基礎に、経営学コースと経済学コースの科目を柔軟に履修することができます。3年時からは、少人数のゼミナールに所属して、特定のテーマを深く研究することができるよう、カリキュラムを設計してあります。そして国際的な水準で活躍する研究者や、高度な実務経験を持った教員が、皆さんを支援いたします。

学生の皆さんは、この経営学系という場を大いに利用し、高度な専門能力と豊かな教養を持つ国際的なリーダーとして、育ってくださることを期待しています。

経営学系長 桑田 耕太郎

経営学系

経営学コース

経済学コース

系の考え方

1年次には、単に経営・経済知識に飛びつくのではなく、共通教養科目、都市教養プログラムを通じて、現代社会のさまざまな問題に関心を向け、深く物事を考察する能力を磨きます。2年次進級時に、経営学コース、経済学コースのいずれかを選択し、自分の関心に沿って基礎となる専門科目を手はじめに、専門科目を体系的に学びます。3年次進級時には、ほとんどの学生が専門的研究テーマを設定してゼミナールに参加します。そして、卒業研究課題に沿った勉強をはじめ、4年次に卒業研究論文をまとめます。このようにして、経営学系ではきめ細やかな指導をしながら専門領域に関する体系的な教育を行います。

系の特色

社会科学の重要領域である経営学、経済学の中から問題関心に沿った自由な受講科目選択、コース選択が可能です。その上で、少人数教育による徹底した専門教育を実現しています。専門教員には、日本を代表する企業の重要ポスト、国の政策決定の中核機関からの人材を含め、それぞれの分野の第一線の研究者を配しています。大学院経営学専攻には、問題解決型の高度職業人養成と、国際水準の研究を推進する研究者養成という2つの教育プログラムが用意されています。その教育・研究指導の一部は、平成19年度から文部科学省の推進する「大学院教育改革支援プログラム」にも採択され、国の重点的財政支援を受けました。学部の成績優秀者は、3年次修了時に、本学大学院に飛び入学できる制度もあります。

経営学コース

http://www.biz.tmu.ac.jp/



経営学は、日常の中にある企業の戦略を探り、社会を動かす学問

人類がここまで文明を発達させることができたのは、人間が組織で活動してきたからです。ひとりではできないことも、それぞれが自己のもつ能力を出し合い、その知恵を結集することで、新しいものを創り出し、これまでになかった発想を生む。それこそが企業のもつ役割であり、未知なる可能性なのです。

経営学系経営学コースでは、社会を動かす大きな力である、企業やビジネスがどのように成り立っているかを理解し、分析する能力を身につけることを目標にしています。そして将来は、企業を動かしていくリーダーとして、あるいは深く経営学や経済学を探究する研究者と

して活躍していく人材の育成を目指しています。こうした狙いから、企業やビジネスについての理解を深める内容の講義を重視しています。研究者としての高い実績をもつ教員を多くそろえ、体系的に経営学と、経済学を学べることは、本コースの大きな特徴のひとつです。

企業の戦略と組織、経営計画や分析の技術・理論を学ぶことは、企業が社会の中で大きな役割をもつ現代において、社会で活躍するための必要不可欠な能力を磨くことにもなります。

カリキュラムの特色

1・2年次には、経営学、経済学、経営科学、会計学などの基礎的な専門科目を履修します。3・4年次になると、それぞれの興味や目標に合わせ、多様な教育科目からの自由度の高い選択が可能となります。

また、3年次よりほぼ全員がゼミに入り、興味ある専門分野をより深く学ぶことになります。ゼミは教員1名に対して学生8名程度の少人数制で、一人ひとりの学生に対して、細やかな指導が行われています。

求められる学生像

企業は社会の中の大きな力です。企業について、体系的・理論的にしっかりと学びたいと考えている人、国際的な視点から企業経営を考えてみ

たい人、新しい事業を起こしたいというベンチャー精神にあふれた人を歓迎します。

履修モデル

区分	1年	2年	3年	4年
都市教養科目群	基礎ゼミナール 情報科目			
共通基礎教養科目群	実践英語科目、都市教養プログラム (p.022 参照)			
専門教育科目群	経営学 経営史I 会計学I ファイナンス ミクロ経済学 基礎数学	マーケティング、経営組織論 経営戦略論、原価計算論 データ解析、経営史II 意思決定論、会計学II 財務諸表論、経営科学II 金融工学、企業金融論 金融I、マクロ経済学 財政I、ゲーム理論I 計量経済学、経済史 経済思想、専門書講読	金融数学、経営行動論 マーケティング・コミュニケーション 競争戦略論、組織行動 ヒューマン・リソース・マネジメント 経営心理、プロダクション・マネジメント 金融II、金融経済学、企業経済学 財政II、経済政策I、日本経済論I 日本経済論II、社会思想 国際経営論、経済制度論 日本経済史、外国書講読、演習	テクノロジー・マネジメント 国際経営論、財務会計論 管理会計論、マーケティング・サイエンス 経営システム、金融リスク論 経営数理I、経営数理II 数理統計学、経済数学I 経済数学II、ゲーム理論II 国際経済学I、公共経済学I 経済思想史、社会経済思想 演習、卒業論文

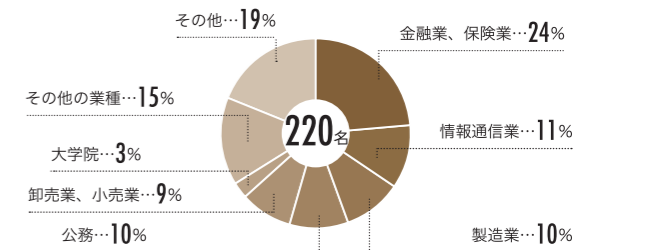
取得できる資格・免許

学士（経営学）：卒業を要件として取得できます。

中学校教諭一種免許状（社会）：定められた教職に関する科目と教科に関する科目の単位（講義・演習・実習）の修得ならびに、卒業を要件として、教員免許状が取得できます。

高等学校教諭一種免許状（公民）：定められた教職に関する科目と教科に関する科目の単位（講義・演習・実習）の修得ならびに、卒業を要件として、教員免許状が取得できます。

卒業後の進路 (2010年3月卒業生実績)



2009年3月、2010年3月卒業生実績

【就職先】 あずさ監査法人、トーマツ、SBIホールディングス、野村総合研究所、帝国データバンク、日本銀行、みずほ銀行、三菱UFJ信託銀行、中央三井信託銀行、りそな銀行、明治安田生命保険、富国生命保険、日本興亜損害保険、大和証券、野村證券、NTT東日本、KDDI、鹿島建設、キヤノン、協和発酵ケミカル、近畿日本ツーリスト、新日本石油、セブン・イレブン・ジャパン、ゼリア新薬工業、キリンビール、味の素、大日本印刷、竹中工務店、JR東海、日本旅行、村田製作所、日本製粉、明治製菓、森ビル、読売新聞社、リクルート、集英社、山善、経済産業省、財務省、法務省、国税庁、東京都庁、警視庁、千葉県庁、立川市役所 など

【進学先】 首都大学東京大学院、東京大学大学院、一橋大学大学院、名古屋大学大学院

在校生インタビュー

自分の生活に密接に関わる知識を学ぶ中で、たくさんの新しい発見がありました。

経営学コースではいつもは消費者の立場から見ていたことを経営者の視点から学べるので、自分自身にとって新しい発見がたくさんあります。また、自分の生活に密接に関わっている知識なので興味深く学ぶことができます。特に「マーケティング」の授業では具体的な企業や商品を取り上げて経営戦略や広告効果などを分析する過程で、何気なく見ていたCMの意図などを深く理解できて、とても親近感が湧きました。また、コースの枠を超えて経営学と経済学を自由に学べることも本コースの魅力です。私はもともと数字を扱う分野に興味があったので、これからは金融やファイナンス系の科目も学んでいきたいと思っています。



【経営学系】経営学コース2年
(2010年10月取材)
鶴岡 奈緒

激変する企業や経済の最先端の姿を学べることが大きな魅力です。

経営学に興味を持ったのは将来、社会に出た時に必要になる“ビジネス”の知識に直結する学問だからです。3年次からは宮下清教授のゼミに所属して「人的資源管理」をテーマに、現在多くの企業で注目されている人事管理や人材育成にスポットを当てた学習・研究に取り組んでいます。経営学コースは経営学だけでなく、経済学や会計、ファイナンス、HRMなど経営・経済分野の幅広い科目を自由に選択でき、変化の激しい経済社会の最先端を学べることが魅力ですね。また、ゼミでの企業訪問や現場体験型インターンシップなどを通して企業や行政の現場に触れることで、自分の将来について考える良い機会になりました。



【経営学系】経営学コース3年
(2010年10月取材)
志田 良太



■ 講義風景



■ 講義風景



■ 講義風景



■ 教科書

経済学コース

http://www.biz.tmu.ac.jp/



経済システムのゆくすえを見定め、経営や行政に指針を与える

世界経済が大きな危機にみまわれるようになってから、経済現象は、今また人々の注目を集めることになりました。毎日のニュースで目にする金融や景気の諸問題をはじめとして、経済は、私たちの暮らしを大きく左右します。経済はまた、政治・行政・経営・環境などの課題とも密接に関わっています。経済学は、これらの経済現象を、「市場」のあり方を中心に解明していく学問です。経済学は、決してむずかしい学問ではありませんが、理論をしっかりとふまえる「知力」と、現実の経済の動きを的確にとらえる「感性」を身につけることが必要になります。

経営学系・経済学コースでは、このような「知力と感性」を養うた

めに、①経済理論を体系的に学ぶ、②経済活動の発展を歴史的に捉える、③現実のデータで理論を検証する、という3つの要素を備えたカリキュラムを用意しています。また、研究者としての高い実績をもつ教員を多くそろえ、経済学と経営学の両方を学べることも、本コースの大きな特徴のひとつです。

現在の経済システムのゆくすえを見定め、企業の経営や国・自治体などの行政に指針を与えること—これら「光」と「果実」を求めることが経済学の使命であり、経営学系・経済学コースで学ぶ学生の目標でもあります。

カリキュラムの特色

1年次には、基礎経済学・統計学などの共通教養科目・都市教養プログラムを中心に履修します。2年次進級時に経済学コースを選択すると、金融、財政、経済史などの経済学の主要なテーマについての科目が始まります。3・4年次では、各自の関心や研究テーマに合わせ、より高度

な専門科目を自由に選択することができます。また、3年次になるとほぼ全員がゼミナールにすすみ、各自の興味のある専門分野を少人数で集中的に学びます。

求められる学生像

経済学は国家や市場の経済活動を解明し、あるべき政策を立案する政策の学です。経済活動がどのような法則性に基づいているかを体系的・理論的に学びたいと考えている人、国・地方や民間企業において第一線

の政策立案に携わりたい人、経済学を探究する研究者として活躍したい人を歓迎します。

履修モデル

区分	1年	2年	3年	4年
都市教養科目群	基礎セミナー 情報科目 実践英語科目、都市教養プログラム (p.022 参照)			
共通基礎教養科目群	共通教養科目、理工系共通基礎科目			
専門教育科目群	財政I ゲーム理論I ミクロ経済学 金融I 経済史 経済思想 社会思想 基礎数学	マクロ経済学、計量経済学 財政II、経済政策I 日本経済論I・II ゲーム理論II 経済制度論、日本経済史 ファイナンス、経営科学I・II データ解析、会計学I 経営学 経営史I・II マーケティング、専門書講読	金融経済学、企業経済学 国際経済学I、公共経済学I 金融II、金融工学 企業金融論 経済数学I・II 金融経済思想、経済思想史 社会経済思想、会計学II 財務諸表論、簿価計算論 意思決定論、経営組織論 経営戦略論、外国書講読 演習	上級マクロ経済学、上級ミクロ経済学 経済政策II、国際経済学II 産業組織論、労働経済学 応用計量経済学、公共経済学II 国際金融I、国際金融II 金融リスク論、現代日本経済史 都市経済史、西洋経済史 経済学政史、数理統計学 マーケティング・リサーチ プロダクション・マネジメント 演習、卒業論文

取得できる資格・免許

学士（経済学）：卒業を要件として取得できます。

中学校教諭一種免許状（社会）：定められた教職に関する科目と教科に関する科目の単位（講義・演習・実習）の修得ならびに、卒業を要件として、教員免許状が取得できます。

高等学校教諭一種免許状（公民）：定められた教職に関する科目と教科に関する科目の単位（講義・演習・実習）の修得ならびに、卒業を要件として、教員免許状が取得できます。

卒業後の目指せる進路

経済学コースは、2009年4月に開設されたコースのため、まだ卒業生を送り出していません。卒業後は、下記のような進路を目指すことができます。経営学系の卒業生の進路情報は、経営学コース (p.051) をご参照ください。

予想される卒業後の進路
 [就職先] 銀行、証券会社、保険会社などの金融・保険業をはじめ幅広い業種の一般企業、国家公務員、地方公務員 など
 [進学先] 首都大学東京大学院 など

在校生インタビュー

コースを越えて学ぶことができるため知識とともに広い視野を得ることができます。

私たちの生活に身近な景気や物価の変動に興味があり、それに対する経済政策を学びたいと考え経済学コースを選びました。金融の仕組みからはじまり、現在の金融危機といった実際の事象を学ぶ金融の授業や、パソコンを使ったデータ解析の授業が特に興味深いです。経営学コースの経営戦略論や国際経営論も受講しています。経営学系はコースの垣根が低く、興味を持った授業は比較的自由に受講できるので、視野を広げることができます。また先生との距離が近いのもこのコースの魅力。授業後でも疑問点を質問すると丁寧に教えてくださいます。これから簿記の資格取得などにもチャレンジし、将来の仕事に活かしていきたいです。



【経営学系】経済学コース2年
(2010年10月取材)
井川 奈緒

近年の世界的な金融危機について学びニュースを見る視点が変わりました。

高校時代、政治・経済の授業が好きだったことをきっかけに経営学系に進学しました。大学で学びはじめて興味を持つようになったのは金融です。一見私たちの遠くで動いているようで、実は身近であることを知り面白く感じています。また3年前期のゼミのテーマは金融危機。ニュースでもよく耳にするリーマンショックやサブプライムといった内容を、文献やインターネットで調べて考察しました。問題が起こった時のこの国の対応は良かった、こうするべきだったというように、国際的視野からみんなで議論。ニュースの見方も変わりました。卒業後は大学での学びを活かし、銀行や証券などの金融関連の職業に就きたいと考えています。



【経営学系】経済学コース3年
(2010年10月取材)
加納 千亜希



■ 経営学系図書館



■ 講義風景



■ 講義風景



■ 教科書



基礎力養成を堅持しながら創発的な教育を重視。
科学・技術の課題解決にチャレンジできる人材を育成。

私たちは子どもの頃から自然現象に対して素朴な疑問をいただきます。また機械を分解して仕組みを知った時に驚きを感じた経験もあるでしょう。論理的な思考や系統的な手法を用いて、このような自然の不思議を明らかにしたり、モノの仕組みを作り出していく、これが理工学という学問です。

数理学、物理学、化学、生命科学の4つの基礎理学分野と、電気電子工学、機械工学の2つの基幹工学分野からなる本学の理工学系では、理工学の確かな基礎力を身につけながら、その基礎をもとに具体的な問題の解決能力を養う教育を実践しています。どんな分野に進むにせよ、研究者、技術者、教育者となって高度な役割を果たし、社会で活躍するためには、確かな基礎力が重要です。そしてその知識をもとに、未知の世界へ挑戦を続けていくのです。本学系では、基礎力を習得する教育を堅持しながら、学生が自主的に企画する研究も重視しています。生命科学コースの「生物学自主研究」や電気電子工学コースの「電気電子プロジェクト」はじめとする、創発型科目を導入しています。

研究レベルの指標の一つである論文引用指数では、本学の理工学系は多くの分野で上位に位置しています。大学院理工学科と直結することで質の高い教授・研究を可能にしているのです。自然界の不可思議を解明したいと思うロマンに満ちた人、モノづくりに果敢に挑戦したい人、本学の理工学系は意欲あふれる学生をお待ちしています。

理工学系長 岡部 豊

理工学系

数理学コース

物理学コース

化学コース

生命科学コース

電気電子工学コース

機械工学コース

系の考え方

理工学系では、自然科学と科学技術に関する深い理解・知識、論理的な考え方・手法を身につけることを目指しています。そのため、4年間をかけて、基礎・基盤づくりを大切に系統的な教育を実施しています。そして、問題解決能力を培い、広い視野を有し、理工学を基盤として、社会における課題・情勢に対して、適切に対応できる能力を備えた人材を養成したいと考えています。理工学分野では、4年間の学部教育を受けたあとに可能であれば大学院に進学することを念頭において、勉学に臨んでほしいと思っています。理工学系では70%を超える学生が大学院に進学しています。各コースは学部4年で完結したカリキュラムによる教育を行っていますが、それと同時に学部3年で卒業できる早期卒業の制度を設けるなど、学部・修士一貫の教育体系も整備しています。

系の特色

「大きすぎず、小さすぎず」という規模が理工学系の特色です。そのため、少人数教育でありながら広い分野をカバーできる教育体制を可能にしています。学部で1学年260名、修士で1学年189名の学生定員に対して、176名の教員が教育にあたるという、充実した学びの場を提供しています。教育の特色として、各コースでは、学生が自主的に企画する研究を重視しています。例えば、生命科学コースの「生物学自主研究」は1年次からいつでも受講できますが、担当教員の助言を受けながら、学生が自ら研究グループを組織し、研究テーマの設定、研究計画の作成、実際の研究、研究成果の発表を行います。電気電子コースの3年次の「電気電子プロジェクト」では学生の主体的創案・参加を重視し、各自が選択した一つのテーマ（自律走行車作製、超音波生体画像システム作製など）に取り組んでいます。首都大学東京理工学系の教員は、いずれも科学・技術の先端研究を行っています。理工学として優位性を活かして、理学と工学の協同作業が期待できます。21世紀は、科学上の発見が即時に応用に展開され、一方、先端技術が新しい科学分野を創出する時代です。理工学系で、21世紀の科学技術の課題解決に挑戦しましょう。

数理学コース

http://www.se.tmu.ac.jp/mis/



数学の楽しさを最高の環境で学ぼう

数理学の楽しさ、それは常に白黒がはっきりする明晰さがある一方で、不等式的・アナログのさもあるその豊かさにあります。そんな数理学の魅力を実感しながら、数学や情報科学を学ぶことができるのが、数理学コースです。数理学という「学問のための学問」というイメージが強く、現実社会では役立つ場がないと思われがちですが、実際には、物理学、工学をはじめとして、コンピュータや経済学、遺伝子など生命科学の世界、さらには、年金や保険の世界などにおいても、最先端の理論が大活躍しています。そうした現状を受け、本コースで学ぶ数理学は代数学、幾何学、解析学および情報数学の4分野で構成されています。

学びやすさに徹底して配慮した学習環境の良さが、本コースの大きな特色です。そのひとつに、学生の質問に授業中以外でも速やかに答えられるよう、教員が研究室を開放する時間（オフィスアワー）を設けています。また、授業で修得した知識に加えて、数名程度のセミナーを2年次から行う機会（数理学総論）もあります。さらに、数学に関する蔵書では他大学をしのぐ充実度を誇る数理学コース独自の図書室や、学生の学習意欲を促進する早期卒業制度、大学院への筆記試験免除制度なども用意された本コースで、皆さんも数理学の醍醐味を味わってみませんか。

カリキュラムの特色

本コースでは、より専門性の高い数理学を学ぶという狙いから、根幹となる代数学、幾何学、解析学及び情報科学の基盤分野について、大学院につながる高レベルのカリキュラムが組まれています。しかも、それらのカリキュラムは高校で学んだ数学をベースに、基礎的な具体例から学習し、徐々に抽象的な概念を理解しながら、系統立てて学べる

ように工夫されています。さらに大きな特色として、演習や実習を徹底して重視している点があげられます。講義に付随した演習授業は1・2年次に多く開講され、積極的に問題を解くことによって基礎学力と実践的な力を身につけます。そして、3・4年次では、そうして培った基礎学力を土台に、より専門的な内容を学習します。

求められる学生像

やはり、数学あるいはコンピュータが好きということが第一の条件となります。さらに、応用面も重視する本コースでは、高校までの学習内容について、幅広い基礎知識をもっていることが大切です。

難解な数学の問題に直面したとき、出口が見えない中でさまざまな方法を用いてチャレンジし試行錯誤しながら、少しずつ解に近づいていき

ます。そうした体験を繰り返しながら、課題を解決する応用力とストレスに負けない強じんな精神力を身につけ、実社会に力強く羽ばたいていくことのできる人材を育成すること。それが、本コースの目指すゴールです。

履修モデル

区分	1年	2年	3年	4年
都市教養科目群	基礎ゼミナール、英語教育、情報教育、都市教養プログラム (p.022 参照)			
共通基礎教養科目群	共通教養科目、理工系共通基礎科目 (微分積分I~III、線形代数I~III、他)			
専門教育科目群	必修科目	微分積分I・II演習 線形代数I・II演習 集合と論理演習	微分積分III演習、解析入門II演習 線形代数III演習、代数学序論 解析入門I演習、代数学序論演習 位相空間論、幾何学序論 位相空間論演習、幾何学序論演習	数理学特別研究I・II
	選択必修科目		数理学総論	代数学特別講義I・II・III 幾何学特別講義I・II・III 解析学特別講義I・II・III アルゴリズムB アルゴリズムB演習 情報システムB
			数理学総論 代数学A・B 幾何学A・B 解析学A・B・C 応用数理情報概論II・III 情報システムA 情報システムA演習 画像の数理 計算の数理I・II アルゴリズムA アルゴリズムA演習、数学英語	

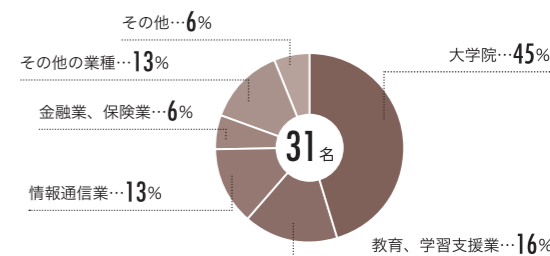
取得できる資格・免許

学士（理学）：卒業を要件として取得できます。

中学校教諭一種免許状（数学）：定められた教職に関する科目と教科に関する科目の単位（講義・演習・実習）の修得ならびに、卒業を要件として、教員免許状が取得できます。

高等学校教諭一種免許状（数学・情報）：それぞれの免許に定められた、教職に関する科目と教科に関する科目の単位（講義・演習・実習）の修得ならびに、卒業を要件として、教員免許状が取得できます。

卒業後の進路 (2010年3月卒業生実績)



2009年3月、2010年3月卒業生実績

【就職先】 山梨中央銀行、大和証券、NTT東日本、NTTPCコミュニケーションズ、JR東日本、あいおい保険システムズ、伊藤忠テクノソリューションズ、エス・エム・エス・データテック、キャノンソフトウェア、ジェイアール東日本メカトロニクス、シンパッド・インターナショナル、システムサービス、ビックカメラ、ヤフー、横浜ゴム、教員（神奈川県、宮城県、私学）など

【進学先】 首都大学東京大学院、一橋大学大学院、名古屋大学大学院 など

在校生インタビュー

解答がパッとひらめいた時の達成感が数学を学ぶ醍醐味です。

昔から理科や数学が好きで、特に数学は根底の部分から学びたいと思っていました。高校までは公式や定理を使って計算すればよかったのですが、大学の数学は証明問題が中心で、何から手をつけていいかわからないこともあります。解答がパッとひらめいた時に感じる達成感が学んでいく上での楽しみです。本コースでは院生の先輩方に質問できるマスキニクという機会が毎週開催されていて、わからないところを気軽に質問できるので助かります。3年次からは代数系分野を専門に学びたいと考えていますが、将来、数学を学んできましたと自信を持って言えるように、論理的思考力をもっと養いたいと思っています。



【理工学系】数理学コース2年
(2010年10月取材)
高田 紀寿

大学で学ぶ数学はスケールが大きくて毎日ワクワクしながら学んでいます。

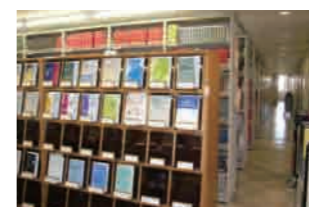
数学の魅力は論理的に考えていけば必ず解答にたどり着けるところ。証明問題は推理ゲームやパズルのような感覚があって、昔から解くことが楽しめていたが、大学で学ぶ数学はよりスケールが大きくてワクワクしますね。特に興味がある分野は直感的にアプローチできる代数学幾何学で、研究室もそちらの方向で考えています。「数理学総論」では決められたテーマについて自分たちで調べて発表する作業を通して、研究室での学習・研究の雰囲気を味わうことができます。現在、教職課程も選択しているので、当面の目標は教員免許を取得することです。そして、将来的には数学の楽しさを伝えられる仕事に就きたいと思っています。



【理工学系】数理学コース3年
(2010年10月取材)
寄崎 恵美子



■ 大学院セミナー



■ 数理学コース独自の図書館



■ マスキニク



■ 授業風景

物理学コース

http://www.se.tmu.ac.jp/phys/



自然界と物質が織りなす驚きに満ちた世界にあなたも飛び込もう

物理学を学ぶとは、どういうことでしょうか。それを学ぶことで、どんな世界が広がってくるのでしょうか。

物理学は、宇宙の始まりや進化、物質を構成している素粒子、さらには超伝導などの物質の性質など、宇宙や身の回りで起きる自然現象、物質の基本構造を調べ、それらの奥に潜む基本法則を探究する学問です。こうした説明を聞くと、一見、現実社会とは無縁の「学問のための学問」と感じるかもしれません。しかし、物理学は現実社会を深く知るための、極めて有効な学問でもあるのです。

例えば、いくつかの違った現象を目の前にしたとき、共通の立場か

ら説明することができないかと考え、基礎となる法則を考える。また、ある現象が起こる原因を種々の実験結果から論理的に突き止める。そうした能力は、実社会に出てからもあらゆる場面で大いに役立ちます。物理学コースでは、このようにさまざまな疑問や謎を解決していくための基本的な考え方と手法を身につけることができ、さらにそれを具体的な問題へ応用する能力を得ることができます。

物理学を通して初めて見えてくる、身の回りの世界の面白さ、美しさ、そして奥深さを本コースでぜひ体験してみてください。

カリキュラムの特色

物理学コースのカリキュラムでは、力学、電磁気学から物理数学、量子力学、統計力学などへとというように、物理学の理解に欠かせない基礎科目を徹底して学びながら、段階的に高度なものへと講義が組まれています。さらに講義だけでなく、ほぼすべての学年に用意された実験や演習を通じて自ら体験的に物理学を学ぶことができるのも、カリキュラムの大きな特色のひとつです。そうした実験や演習の多くは、教員ができるだけ丁寧に指導できるよう少人数で行います。これらの講義や実験・実

習には、学年が上がるごとに最先端の研究に近い内容が少しずつ盛り込まれ、より高度になる一方で、知的好奇心を刺激する面白さも増えています。最終学年では、少人数に分かれて各研究グループに所属し、大学院生たちと一緒に物理学研究の一端を体験し、卒業研究としてまとめます。また、他大学にはない特色として、4年次では大学院と共通の講義に出席し、単位を得ることが可能です。

求められる学生像

身の回りのすべてのことに限りない好奇心を抱くことのできる人、そこで抱いた疑問や謎を解明したいという気概と情熱をもち続けることができる人、自らの考えを周囲に発信する積極性をもっている人、そして、何よりも物理学の面白さを知っている、あるいは知りたいと思っている皆さんこそ、物理学コースの求める人たちです。

近年、化学をはじめとして、さまざまな分野と物理との融合が注目を集めています。そうした中、本物理学コースでは物理学の基礎をしっかりと身につけながら、さらに広い視野に立ち、いろいろな領域で活躍することのできる人材の育成を目指しています。

履修モデル

区分	1年	2年	3年	4年
都市教養科目群	基礎セミナー、英語教育、情報教育、都市教養プログラム (p.022 参照)			
共通基礎教養科目群	共通教養科目、理工系共通基礎科目 (力学、剛体、波動、物理学実験第一)			
専門教育科目群	必修科目	物理学演習I・II 熱・量子基礎	電磁気学I・II 解析力学、量子力学I、物理学I 物理学演習III・IV 物理学実験第二	熱・統計力学I 物理学実験第三
	選択必修科目	物理セミナー	物理測定法 物理数学II	量子力学II・III 熱・統計力学II 連続体基礎、特殊相対論 物性物理学基礎I・II 物理情報処理法 計算物理学、光学 現代物理学序論、原子核・素粒子 物理学演習V・VI 物理学実験第四、物理学総合演習
				数理学特別研究I・II
				一般相対論 宇宙物理学 原子核物理学 素粒子物理学 原子物理学 流体力学、粒子線物性 物性物理学I・II 物理学特殊講義A・B 物理学学外体験実習

取得できる資格・免許

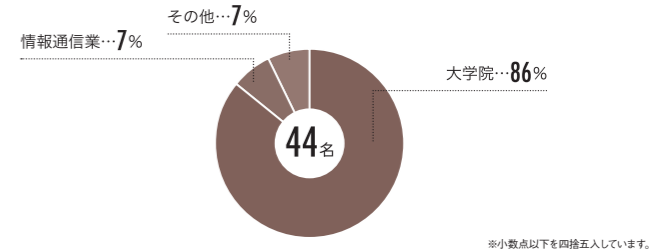
学士（理学）：卒業を要件として取得できます。

中学校教諭一種免許状（理科）：定められた教職に関する科目と教科に関する科目の単位（講義・演習・実習）の修得ならびに、卒業を要件として、教員免許状が取得できます。

高等学校教諭一種免許状（理科）：定められた教職に関する科目と教科に関する科目の単位（講義・演習・実習）の修得ならびに、卒業を要件として、教員免許状が取得できます。

学芸員：定められた科目の単位の修得ならびに卒業を要件として、学芸員資格が取得できます。

卒業後の進路 (2010年3月卒業生実績)



2009年3月、2010年3月卒業生実績
 [就職先] NTT東日本、東芝インフォメーションシステムズ、富士フイルムソフトウェア、エス・イー・シー・ハイテック、日立アドバンスデジタル、富士通アドバンスソリューションズ、古河インフォメーション・テクノロジー、三菱UFJ信託銀行、あずさ監査法人、教員（東京都） など

[進学先] 首都大学東京大学院、東京大学大学院、東京工業大学大学院、京都大学大学院、筑波大学大学院 など

在校生インタビュー

同じ分野に興味を持つクラスメートと一緒に学べる楽しさを実感しています。

物理に興味を持ったのは、高校時代の課題で「見えない宇宙」(ダン・フーバー著) という本を読んで、宇宙と素粒子の関係に興味を持ったことがきっかけでした。大学の物理や数学は高校時代とはレベルが違って難しいですが、先生方から最先端の研究に関する話が聞けますし、同じ分野に興味を持っているクラスメートたちと協力したり、議論しながら学べるので楽しいですね。また、物理学コースは担任制があって、2か月ごとに行う面接でいろいろなことを相談したり、研究室の見学ができるのも大きなメリットです。今後は専門科目はもちろんですが、物理を学んでいくために不可欠な英語力も養っていきたいと思っています。



[理工学系] 物理学コース1年
(2010年10月取材)
脇田 美香



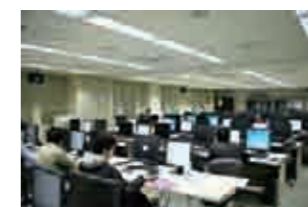
[理工学系] 物理学コース3年
(2010年10月取材)
三浦 有太



■ 教養基礎物理II



■ 物理学実験第三



■ 計算物理学



■ 物性物理学基礎

化学コース

http://www.se.tmu.ac.jp/chem/



化学のプロを目指すと同時に化学の面白さを知ろう

本コースでは、東京都立大学理学部化学科の伝統を引き継ぎ、さらにそれを発展させ、現代社会に受け入れられる化学のプロフェッショナルの育成を目指しています。

化学は、原子・分子レベルで自然を理解し、物質の性質や変化などを探求する自然科学の基礎的な分野です。対象となる物質群は従来の有機・無機・生体関連物質などから、海洋・大気環境、宇宙に関連する物質にまで広い範囲に広がっています。本コースには、このような最先端の化学を担う34名の教員が所属しており、「無機・分析化学」「有機・生物化学」「物理化学」の3主要分野を中心に、1年次は「化

学の基礎的な講義と実験」、2～3年次は「より専門性の高い講義」を提供しており、体系的なカリキュラムで基礎からしっかり学べます。

さらに、化学に関する幅広い知識と理解力、深い専門性を身につけたい人には、大学院が設置されており、卒業生の半数以上が進学しています。

また、早期卒業制度があり、3年で卒業し大学院に進学することも可能です。2009年度に1名の学生がこの制度を利用し、大学院に進学しています。

カリキュラムの特色

本コースでは、「無機・分析化学」「有機・生物化学」「物理化学」の3分野を中心とした、体系的なカリキュラムを作成しています。

1年次は3分野の基礎的な内容を学び、2～3年次で主要3分野のより専門性の高い講義を受講します。特に「宇宙化学」「環境化学」は、

他大学では学べない専門的な内容になっています。

4年次に行われる卒業研究では、教員との1対1の個人指導が行われ、毎年、高いレベルの研究結果が報告されています。年度末には卒業研究発表が行われます。

求められる学生像

高校時代、化学の授業が好きだった人、もっと深く化学を楽しみませんか。物質の根源とは？宇宙の始まりとは？と考えたことのある人。その答えを探しにきてください。

化学は実験を重視する学問ですので、実験が好きなのも向いています。物事に疑問をもって、自分で解明したいという熱意がある人も、化学を探究してください。

履修モデル

区分	1年	2年	3年	4年
都市教養科目群	基礎ゼミナール、英語教育、情報教育、都市教養プログラム (p.022参照)			
共通基礎教養科目群	共通教養科目、理工系共通基礎科目 (一般化学I・II、化学概説I・II、化学実験 他)			
専門教育科目群	必修科目	無機化学総論 分析化学I	化学安全教育	化学専門実験I・II 化学特別研究I・II 化学セミナー
	物理化学系		量子化学I・II 構造物理化学 化学熱力学I	化学熱力学II・III 物性化学I・II 反応物理化学 理論化学概論、物理化学演習
	有機・生物化学系		有機化学I・II・III・IV 生体物質化学I・II 有機生物化学演習、有機構造解析	反応有機化学、合成有機化学 生物化学I・II
	無機・分析化学系		無機化学各論I・II 無機分析化学演習 分析化学II	錯体化学、宇宙化学 放射化学I・II 機器分析I・II、環境化学
	自由科目	物理化学初等演習I・II インターンシップ	化学英語 インターンシップ	化学コロキウム インターンシップ

取得できる資格・免許

学士（理学）：卒業を要件として取得できます。

中学校教諭一種免許状（理科）：定められた教職に関する科目と教科に関する科目の単位(講義・演習・実習)の修得ならびに、卒業を要件として、教員免許状が取得できます。

高等学校教諭一種免許状（理科）：定められた教職に関する科目と教科に関する科目の単位(講義・演習・実習)の修得ならびに、卒業を要件として、教員免許状が取得できます。

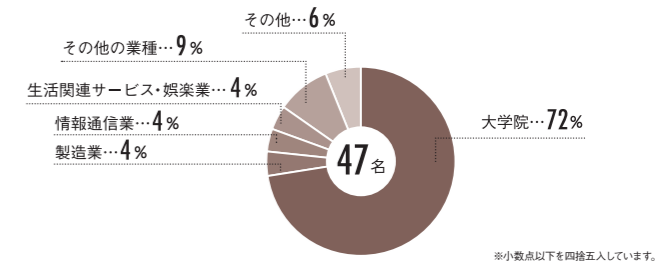
学芸員：定められた科目の単位の修得ならびに卒業を要件として、学芸員資格が取得できます。

毒物劇物取扱責任者：卒業を要件として取得できます。

甲種・危険物取扱者受験資格：要件を満たせば在学中でも取得できます。

学部卒業が受験資格などになりませんが、化学コースの諸講義は、放射線取扱主任者や公害防止主任管理者のような化学系の難関資格試験の専門科目の大部分を網羅しています。大学院博士前期課程在学中に、これらの資格を取得する学生もいます。

卒業後の進路 (2010年3月卒業生実績)



2009年3月、2010年3月卒業生実績
 [就職先] 石油資源開発、明治乳業、トヨタ自動車、富士通コミュニケーションサービス、雪印乳業、森紙業、山武、タイカ、教員(千葉県)、総務省、東京都庁 など
 [進学先] 首都大学東京大学院、東京大学大学院、東京工業大学大学院、筑波大学大学院 など

在校生インタビュー

化学と社会の関わりについて学べたことがプラスになりました。

科学捜査班が活躍する海外ドラマにあこがれて本コースを選びました。1年次の都市教養プログラムでは幅広い知識を得られるだけでなく、環境汚染の現状など化学と社会の関わりについても学べたことが大きなプラスになりました。基礎ゼミナールでは他学部・他学科の人と一緒にグループで学ぶ機会があり、違った発想の意見が聴けたりするので楽しいです。また、化学コースではオフィスアワーが設けられていて、先生方に質問しやすい環境が整っていることも魅力です。今後は後期から始まる実験などを通して基礎知識と応用力を身につけ、化学の世界を探究して、将来は化学の魅力が伝えられる仕事をしたいです。



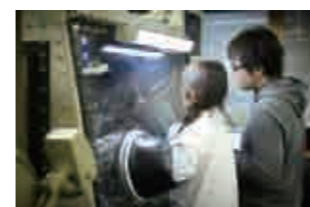
[理工学系] 化学コース1年
(2010年10月取材)
倉持 成美



[理工学系] 化学コース4年
(2010年10月取材)
竹内 翔一

恵まれた設備環境での実験を通して物質や現象の原理を探究できます。

大学の化学は高校時代にひたすら暗記した知識の原理を学べるところに面白さがあります。4年次は無機化学研究室に所属して実験三昧の毎日を送っていますが、自分の実験台があり、充実した設備環境で実験ができるので楽しいです。現在はポルフィリンという有機化合物を合成してさまざまな機能を持たせる研究に取り組んでいます。大学院進学後もこの研究を継続していくつもりです。今後は自分の研究に必要な知識はもちろん、さまざまな最新トピックスにも対応できるように基礎的な考え方をしっかり身につけたいと思っています。将来は自分の興味を満足させて、それが社会に役立つような研究ができればいいですね。



■ 酸素に対してさまざまな物質を扱う有機化学の実験



■ 光を使った無機化学の実験



■ γ線の照射装置



■ 雑菌が入らない条件での生物化学の実験

生命科学コース

http://www.se.tmu.ac.jp/biol/



徹底した実験と自主的な研究活動で『研究する力』をつける

進歩すればするほど新たな謎が生まれる生命科学・生物学の分野で、真に求められているのは「研究する力」「新しいことを考える力」を身につけた人材です。

そこで本コースは生命科学・生物学の分野の基礎を広範囲に、徹底的に学ぶことで「研究する力」の土台をしっかりと固めるとともに、1年次から3年次までカリキュラムの半分を占める実験と、在学中いつでも自らがテーマを決めて研究できる「生物学自主研究」など、徹底

した実験・研究の実践により、「新しいことを考える力」を鍛えます。

また本コースは、生物材料として、さまざまな動物、植物、微生物を扱い、対象とする生命現象も分子・細胞から生態系・環境まで、他の大学では考えられないほど幅広く、生物や生命科学が本当に好きな学生には理想的な環境が整っています。

生命科学は国際性があることから、英語を含むコミュニケーション能力やバイオフィンフォマティクスの教育にも力を入れています。

カリキュラムの特色

実験・実習を重視する本コースのカリキュラムでは、1年次の入学直後から3年次まで、生物学に関する実験があります。野外・臨海実習も、3年次の夏休みを中心に行われます。また、自ら体験的に学ぶという本コースの特色を最もよく表しているのが、「生物学自主研究」です。1年

次から在学中にいつでも履修できるこの「生物学自主研究」では、担当教員の助言を受けながら、学生が自ら研究グループを組織し、研究テーマの設定、研究計画の作成、実際の研究、研究成果の発表を行います。

求められる学生像

本コースほど広範囲に基礎的な生命科学・生物学を学べる学科・コースは、日本広しといえども他にはほとんどありません。また、本コースでは実験・実習を重視しています。ですから、生物が大好きで、生命について深く知りたい人や、実験や観察、研究が大好きな人に本コースは

ぴったりです。一方で、「研究する力」をつけるためには、コミュニケーション能力が大切です。また、生命科学は国際性があり、分子レベルの知識も必要になります。そのため、国語や数学、英語、化学などの基礎をしっかりとし身につけていることが求められます。

履修モデル

区分	1年	2年	3年	4年
都市教養科目群	基礎ゼミナール、英語教育、情報教育、都市教養プログラム (p.022 参照)			
共通基礎教養科目群	共通教養科目、理工系共通基礎科目			
必修科目	生物学実験1・2	生物学基礎実験1・2		生物学特別研究1・2
概説、概論、基礎演習	生物学概説I b・II b 系統分類学概論、生理学概論	遺伝学概論1・2 発生生物学概論1・2 生化学概論1・2 生物学基礎演習1・2		
	生物学自主研究1	生物学自主研究2		
各論、特別講義、演習			系統分類学各論、生態学各論 多様性解析学各論、進化生物学各論 細胞生物学各論、神経科学各論 生化学各論、生体情報学各論 発生生物学各論、遺伝学各論 分子生物学各論、遺伝子科学各論 ゲノム科学各論、生物学特別講義 生物学英語演習	
			系統分類学実験、進化生物学実験 発生生物学実験、細胞生物学実験 生態学実験、遺伝学実験 生化学実験、神経科学実験 分子生物学実験、生理学実験	生物放射線実験
野外実習、学外体験実習科目			植物系統学野外実習、生物学臨海実習 動物系統学野外実習 生理・発生生物学臨海実習 生態学野外実習、生物学学外体験実習 インターシップ	

取得できる資格・免許

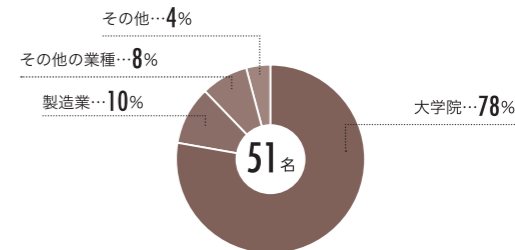
学士（理学）：卒業を要件として取得できます。

中学校教諭一種免許状（理科）：定められた教職に関する科目と教科に関する科目の単位（講義・演習・実習）の修得ならびに、卒業を要件として、教員免許状が取得できます。

高等学校教諭一種免許状（理科）：定められた教職に関する科目と教科に関する科目の単位（講義・演習・実習）の修得ならびに、卒業を要件として、教員免許状が取得できます。

学芸員：定められた科目の単位の修得ならびに卒業を要件として、学芸員資格が取得できます。

卒業後の進路 (2010年3月卒業生実績)



2009年3月、2010年3月卒業生実績

〔就職先〕 明治製菓、森永乳業、日本たばこ産業、ジェネティック、武田薬品工業、日本ペーパークーイングハイム、日本イーライリリー、東京電力、ハマゴムエイコム、ミシュランジャパングループ、日本生命保険、損保ジャパン、変化システム、成城石井、京王ストア、プリンスホテル など

〔進学先〕 首都大学東京大学院、東京大学大学院、京都大学大学院、名古屋大学大学院 など

在校生インタビュー

シミュレーション能力やコミュニケーション能力も実践的かつ自主的な学びで養われていきます。

生命科学コースは自主的な研究活動が認められていて、学生も活気に満ちた人が多いように感じます。自分で研究計画を立て、実際に研究して発表する「生物学自主研究」は、1年次から履修することが可能。実習・実験も多く、早い段階から実践的に学ぶことができます。授業外の活動では生物学のロポコンと言われる学生世界大会 iGEM に参加。マサチューセッツ工科大学の本大会ではプレゼンテーションを担当します。ユニバーサルな活動にも積極的に参加して、コミュニケーション能力や学術能力も高めていきたいです。今後も授業のほか、さまざまな活動の中で学びながら、科捜研で働くという自分の夢に近づいていきたいと思います。



〔理工学系〕生命科学コース2年
(2010年10月取材)

志村 智



〔理工学系〕生命科学コース3年
(2010年10月取材)

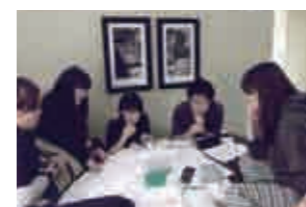
星野 里奈

合宿形式の野外実習や実験の授業を通して生物学への興味がますます高まりました。

小さい頃から動植物に関心があり、生物学の面白さにもっと触れたいと思ってこのコースを志望しました。授業の中で特に興味深いのは、実験の授業と、泊りがけて海や山の生物を採取・観察する野外実習。実際に野生生物に触れるフィールドワークは発見も多く一番楽しい授業です。また他大学や研究施設の先生が講義を行う集中授業には、積極的に参加して、知識や視野を広げようとしています。授業で分からない点や今後の研究の方向性など、先生には授業以外の時間も質問に行きます。親身に相談ののってくださるので、とても心強いです。卒業後は大学院に進学して、生物学の学びをさらに深めたいと考えています。



■ 酵素反応の速度解析実験



■ 学生の自主活動 (iGEM 発表の準備)



■ 線虫突然変異体の観察



■ 海岸での植物の調査

電気電子工学コース

http://www.se.tmu.ac.jp/eee/



人類の未来を支える技術を学ぼう

電気電子工学は、人々の生活を支えるライフラインとしての電力の供給から、情報通信機器、交通、医療、宇宙開発、環境保護、その他極めて多様な分野において不可欠とされる技術です。また、近未来には人類の活動エネルギーのほとんどが、電気エネルギーに依存すると予想されています。

本コースでは、こうした多様な技術の発展に寄与することのできる人材の育成を目的としています。具体的には、電気電子工学の基盤技術である電気・電子の材料とその特性、電子回路、制御理論、エネルギーの変換・制御に関する分野を学ぶと同時に、それらを取り巻く分野や

領域を超えた新しい学問を効果的・効率的に学習します。また、これらを学習する過程を通して、卒業後の進路である企業の専門技術者、あるいは研究者にとって不可欠な技術の核となる、基礎力や応用力を、そして、技術者としてだけでなく、社会人として生涯にわたり自己を磨き向上させることのできる力を身につけます。

これにより、将来皆さんが従事する職業において、これまでの学習成果を活かしながら仕事にまい進していくことはもちろん、それぞれの職場で必要とする新たな知識を吸収しながら、幅広い技術分野においてリーダーとして活躍することのできる人材の育成を目指します。

カリキュラムの特色

1年次には少人数で電気電子工学分野の課題調査等を行う「フレッシュャーズセミナー」を、2年次には、電気電子分野の基礎専門科目と、関連した実験科目を履修します。3年次には、高度専門科目を履修するほか、学生自身が実験計画を立て実施する電気電子工学プロジェクトを通じて、理論と実践の両面を学習します。4年次になると、指導教員のもとで、具体的な研究に取り組みながら研究手法や問題解決能力を養う電気電子工学特別研究を履修します。さらに、希望に応じてインターンシップを履修します。

トを通じて、理論と実践の両面を学習します。4年次になると、指導教員のもとで、具体的な研究に取り組みながら研究手法や問題解決能力を養う電気電子工学特別研究を履修します。さらに、希望に応じてインターンシップを履修します。

求められる学生像

電気電子工学は、コンピュータや家電製品、携帯電話などの身の回りのモノはもちろん、電車や自動車、医療装置、さらには環境改善のための装置にいたるまで、非常に幅広く活用されている基盤技術に関する学問です。そして、IT社会の進展に伴い活躍の場がさらに広がる基盤技術は、今後ますます進化発展が求められています。本コースでは、

そうした電気電子工学を学び、その未来の可能性に挑戦してみようと思う人、さまざまな電気電子製品や環境問題、エネルギー問題に興味がある人、目標に向かって自ら考えその実現に向かって意欲を燃やす人を歓迎します。

履修モデル

区分	1年	2年	3年	4年	
都市教養科目群	基礎セミナー、英語教育、情報教育、都市教養プログラム (p.022 参照)				
共通基礎教養科目群	共通教養科目、理工系共通基礎科目				
専門教育科目群	必修科目	フレッシュャーズセミナー 電気回路基礎 プログラミング基礎 プログラミング演習	電気電子工学基礎実験第一・二 基礎電磁気学第一・二 電気回路解析、電子回路 電気回路演習、電気電子解析論 電気電子教学、論理回路 物性論基礎	電気電子応用実験 電気電子工学プロジェクト	電気電子工学セミナー 電気電子工学特別研究
	選択必修科目		電子物性論、電気電子材料 半導体工学、電磁波工学 光電波伝送工学、通信方式 集積化電子回路 基礎制御理論、現代制御理論、最適化理論 エネルギー機器構成論 電力変換制御工学 エネルギー変換工学 確率と統計、デジタル信号処理 数値計算法、工学倫理 インターンシップ、知的財産権 工業基礎英語、工業実用英語	量子電子物理 プラズマ工学 計測・センサ工学 エネルギーシステム工学 工業経営工学概論 電気設計工学 電波法規 電気法規および施設管理	

取得できる資格・免許

学士（工学）：卒業を要件として取得できます。

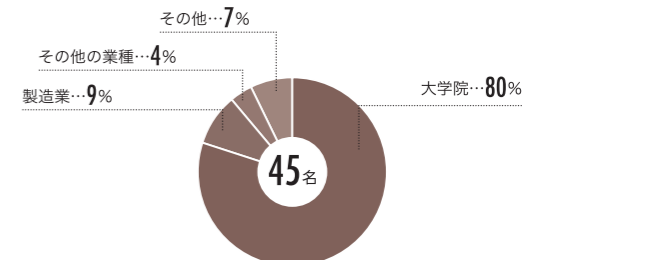
高等学校教諭一種免許状（工業）：定められた教職に関する科目と教科に関する科目の単位（講義・演習・実習）の修得ならびに、卒業を要件として、教員免許状が取得できます。

電気主任技術者：履修指定科目の単位の修得と卒業後の所定の実務経験により取得できます。

海上特殊無線技士：履修指定科目の単位の修得により取得できます。

陸上特殊無線技士：履修指定科目の単位の修得により取得できます。

卒業後の進路 (2010年3月卒業生実績)



2009年3月、2010年3月卒業生実績

【就職先】 東芝、本田技研工業、東京電力、アイ・ティ・フロンティア、NEC（日本電気）、コニカミノルタホールディングス、東芝デジタルメディアエンジニアリング、日立情報通信エンジニアリング、伊藤超短波、NTTデータ、三菱商事、航空管制官 など

【進学先】 首都大学東京大学院、東京大学大学院、東京工業大学大学院、京都大学大学院、ニューヨーク大学大学院 など

在校生インタビュー

実験を通して理解を深め、新たな特性を発見。多くの「分かった!」を感じる事ができます。

エンジニアである父の影響を受け、このコースに進学しました。授業はとても興味深く、学ぶほどに面白さを感じています。特に実験の授業では、実際に回路を組むことで予想していなかった特性を見出すなど、毎回たくさんの発見があります。またグループワークのため、みんなで教え合い、ディスカッションしながら行っています。電気信号の変化を表示するオシロスコープや、さまざまな波形を発生させる関数発生器等、触れたことがなかった機械を使用するのも実験の楽しい部分です。部活では管弦楽団に所属し、オーボエを担当しています。音響に興味があり、将来は本コースの学びを活かして音響関係の仕事に就きたいと考えています。



【理工学系】電気電子工学コース2年
(2010年10月取材)

鈴木 瞭

現役エンジニアの話聞くことが進路を考える上で大きなプラスに!

もともとモノづくりに興味があって本コースを選び、現在、ミリ波を用いた2次元通信デバイスの研究に取り組んでいます。卒業後も大学院に進学して同じ研究テーマを深めていく予定で、将来は研究職として新しい分野にチャレンジしていきたいと思っています。4年次に受講した「工業経営工学概論」を通して企業で活躍しているエンジニアの方の話聞く機会に恵まれたことは、今後の進路を考える上で大きなプラスになりました。また、日々の実験やサークル活動を通じて感じたのは、人と協力して何かをやり遂げる楽しさと難しさです。首都大学東京はそれらを体験できる、恵まれた環境が整っています。



【理工学系】電気電子工学コース4年
(2010年10月取材)

椎名 健雄



■ 電気電子工学基礎実験II



■ 電気電子工学基礎実験II



■ 半導体製作実験



■ 電気電子工学基礎実験

機械工学コース

http://www.se.tmu.ac.jp/mech/



先端技術分野で活躍するには「自学自習」つねに自分で学ぶ力が必要になる

高度な科学技術の修得と、ものづくりへの応用。将来、先端技術分野で活躍するには、優れた知性と、それを活かせる技術力を身につけることが大切です。

そこで本コースは「機械の基礎四力学」＝（材料力学）（機械力学）（熱力学）（流体力学）を徹底的に学び、これをベースに演習、設計、実習などで、ものづくりのための実践力を修得します。

また3年次を中心に、卒業生の活躍を見る「企業研修」や「インター

ンシップ」で先端技術をライブで体験したり、チームで“電気自動車”作りに挑む「独創機械設計」などの特徴ある授業も多く、将来、国際的な舞台で活躍できるエンジニアを育成するため、国際コミュニケーション能力向上のための授業も充実しています。さらに平成20年度から文部科学省 専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進プログラム“熟練技術者を活用したものづくり実践教育”に取り組み、これを反映させた教育も展開しています。

カリキュラムの特色

大学院教育までを視野に入れた、一貫性のあるカリキュラムを準備しています。

1・2年次は機械工学の基礎的な科目が中心となりますが、学年が上がるに従い、専門性の高い科目が増えていきます。その内容は多彩で選択肢も多く、バイオエンジニアリング、機械エネルギー変換工学、先端制御工学など、自分の興味ある分野を専門的に学ぶことができます。

1年次から始まる機械工作実習や3年次の企業研修など、座学だけでは学ぶことのできない機械工学の世界を、実習や実験を重ねることで体験していきます。

4年次の卒業研究では、教員1名に学生が3名程度。一人ひとりの研究テーマにきめ細かい指導が行われています。

求められる学生像

機械工学コースでは、授業による基礎知識の修得だけでなく、実習、実験など実際のものとのふれあいを通した知恵の修得も大切にしています。ものづくりが好きな人、好奇心が旺盛な人、夢をもち、それを実現する実行力のある人に来てほしいと思っています。

また、本コースには世界から多くの研究者が来訪しています。専門の学問だけでなく、語学やコミュニケーション、ディスカッションの力を身につけ、世界の舞台に飛躍したい人が自分を磨くために最適な場といえるでしょう。

履修モデル

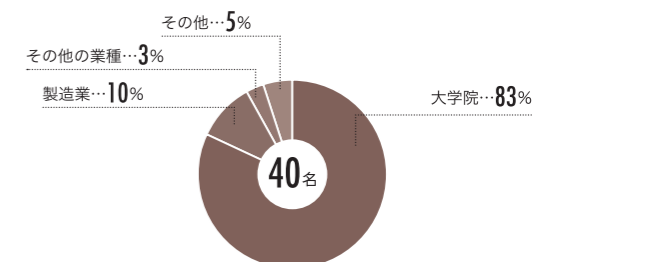
区分	1年	2年	3年	4年	
都市教養科目群	基礎セミナー、英語教育、情報教育、都市教養プログラム (p.022 参照)				
共通基礎教養科目群	共通教養科目、理工系共通基礎科目				
専門教育科目群	必修科目	工業の力学A 材料の工学第一A 機械工作実習 工業の力学演習	機械の力学A 熱の工学第一 工学の数理 材料の力学演習 バイオメカニクス 機械CAD製図	機械工学実験第一 機械の力学演習 工学の数理演習	機械の要素 機械の制御 材料科学工学 機械設計製図 機械工学実験第二 熱の工学演習 流れの工学演習
	選択科目		計測工学 材料の力学第二A 熱の工学第二 流れの工学第二 メカトロニクス	振動工学 伝熱工学 機械数値計算法 バイオエンジニアリング 機械エネルギー変換工学 インターンシップ 企業研修 機械英語第一第二 先端制御工学 ロボット設計論 材料加工工学 生産工学	エンジン工学 環境材料学 固体力学 トライボロジー 数値流体工学 数値流体工学演習
				卒業研究 卒業研究セミナー 機械システム工学 ライフサイクル設計論 分子熱流体力学概論 機械の化学 機械工学先端講義第一・第二 工学倫理 知的財産権	

取得できる資格・免許

学士（工学）：卒業を要件として取得できます。

高等学校教諭一種免許状（工業）：定められた教職に関する科目と教科に関する科目の単位（講義・演習・実習）の修得ならびに、卒業を要件として、教員免許状が取得できます。

卒業後の進路 (2010年3月卒業生実績)



2009年3月、2010年3月卒業生実績

【就職先】 デンソー、東芝、日産自動車、本田技研工業、富士重工業、東日本トランスポート、富士ゼロックス、みずほ銀行 など

【進学先】 首都大学東京大学院、東京大学大学院、東京工業大学大学院、航空大学校 など

在校生インタビュー

ものづくりを通して医療や介護福祉の分野に貢献することが目標です。

看護や理学療法の分野に興味があったことがきっかけで介護用ロボットの存在を知り、自分もものづくりを通して介護・福祉に貢献したいと思いました。まだ基本的な知識を学んでいる段階ですが、「機械工学実習」では作業着を着てネジや固定器具を作るといった初めての体験を通して、ものづくりの達成感を味わうことができました。今後、機械やプログラミングの知識・技術を身につけて、将来はナースに変わって力仕事ができる医療用ロボットを製作することが目標です。私たちの学年は40名中女子6名ですが、暗いイメージはありませんので、女子でも機械やものづくりに興味がある人はぜひ、チャレンジして欲しいですね。



【理工学系】機械工学コース2年
(2010年10月取材)

中山 友子



【理工学系】機械工学コース3年
(2010年10月取材)

渡辺 諒

実際のものづくりに理論を活かす難しさや面白さを感じながら、実践力を養っています。

大学で理系のどの分野を専攻するか迷いましたが、今はものづくりに携わる本コースを選択して正解だったと感じています。「機械設計製図」の授業では、パソコン上で設計製図をした電気自動車を実際に製作。設計図通りに製作してもなかなか上手くいかず、検証と変更・調整を何度も繰り返して完成。他校と2時間耐久レースを行い結果は残念なものでしたが、貴重な経験となりました。学校で行く工場見学も視点が変わり、分からない単語は帰ってすぐ調べるようにしています。また機械には、電気、情報、機械の大きく3つの分野が関わっていることを知り、これからは大学院進学を視野に入れながら、電気や情報も学びたいと考えています。



■フレッシュマンセミナー



■電気自動車コンテスト



■機械設計製図



■独創機械設計



多角的な視点から政策を学び、
都市を動かす人材になる!

多くの人々が暮らし活動し、それを支える多様な機能が集積している場所—「都市」。現代の都市はさまざまな課題に直面しています。環境、住宅、食、教育、育児、福祉、医療、安全、経済、雇用、交通、都市計画、インフラ、ライフラインといった各分野に関わる問題から、少子高齢化、国際化、ボーダレス化、情報化、分権化という国内外における大きな潮流に関わる問題まで、都市において対応が求められる政策課題は枚挙にいとまがありません。都市での解決が必要な課題はますます多様化し複雑化する一方なのです。そして、そうであるからこそ、都市とそれを対象とする政策について学ぶ大きな意義と醍醐味があるといえます。

都市をめぐるきわめて多岐にわたる政策課題の解決策を見出していくうえで、基礎的・体系的な学問知識を身につけると同時に実際の現場や取り組みを把握して、理論と実践とを結び付けて考え行動する力が不可欠となります。また、都市について考えるにあたっては、都市と非都市部、大都市とそれ以外の地域、首都と地方都市といった地域間の関係性や相互依存関係についても、しっかりと理解する必要があります。

都市政策コースでは、大都市であり首都でもある東京の立地条件を最大限に活かして、将来、都市政策の形成と展開を担っていくことのできる、実践的な思考力と行動力を有する優れた人材の育成を目指しています。意欲のある学生の皆さんを歓迎します。

都市政策コース長 奥 真美

都市政策コース

※2年次進級時に選択

「都市」を対象とするとは？

「都市」と一言にいっても、大都市もあれば中規模・小規模の都市もありますし、また、首都である東京に対して地方都市といった捉え方もあります。人口・経済規模、地理的・自然的条件、産業構造、歴史・文化・風土なども、都市によって異なります。都市は多様であり、都市が直面する問題もしたがって多様であるということになります。そして、忘れてはならないのは、都市は自己完結型ではないということです。ひとつの都市のなかだけですべての社会的・経済的活動が充足されているということは、現実ではあり得ません。都市における活動は、他都市もしくは非都市部から供給される食糧、労働力、水や電力といったライフラインによって支えられ、都市から出る大量の廃棄物は都市外に持ち出されて処理されています。同時に、ある都市における消費が非都市部や他都市を支えているということもあります。このように都市とそれを対象とする政策について学ぶということは、都市と非都市部もしくは都市同士がどのような関係性をもって存在し、機能しているのかについても合わせて理解するということの意味するのです。

既存の学問領域にとらわれないことの重要性

都市政策コースは、都市教養学部直属の、つまり特定の学系に属していない、ユニークなコースです。その理由は、都市が抱える問題とその解決策を探るには、特定の学問分野からだけの考察では十分ではなく、法学、社会学、政治学、経済学、財政学といった複数の学問領域からの学際的で総合的なアプローチが求められるからです。たとえば、良好な景観を形成し保全していくことする場合、景観を乱すような行為を法律で規制するという方法もありますが、ルールを作れば誰もが必ずそれに従うというわけではありません。良好な景観を維持することが地域の魅力を高めて、地価の上昇や地域経済の活性化にもつながるということを経済学的に立証したり、そこで生活し活動する人々が主体となることで継続的な取り組みが可能になるよう社会学的に検証したり、多角的な学問分野からの考察が必要になります。都市政策コースでは、学際的で総合的な視点で物事を把握し、解決策を見出していくというスタンスを基本としています。

都市政策コース

http://www.urbanpolicy.tmu.ac.jp/



大都市がもつ魅力とは何か。都市政策へ学際的にアプローチ

都市政策コースでは、これまでの学問体系の枠にとらわれず、より広い視野に立って政策論を学び、政策立案・実務を担う上で必要な素養を“学際的”に修得します。具体的には、法律学・政治学・経済学・財政学・社会学といった社会科学の主要分野から都市政策を総合的にアプローチします。

このためカリキュラムは、学際的で実践的な学習を重視し、政策論に不可欠な分析手法や方法論を重点的に履修します。また、必修科目である「プロジェクト型総合研究」などでは、理論と実践を融合し、都市が抱える政策課題に対して課題解決に結びつく実践的思考力と分

析手法を学び、グループ単位で政策提言を行っています。こうした理論と実践の融合を通して、幅広い視野と将来を見据えた政策立案能力の涵養に努めています。

このように都市政策コースでは、幅広い視野を持ち政策立案に貢献できる人材の育成を目指しているため、卒業生は主に国家公務員、東京都をはじめとした地方公務員など“政策”の担い手として行政分野で活躍しています。

カリキュラムの特色

都市政策コースでは、「都市政策論」、「政策評価研究」といった基幹的科目に加え、「政策分析方法論」、「法と経済学」、「財政学」、「費用便益分析論」、「コミュニティ政策・市民参加」など政策論に不可欠な分析手法や方法論を重点的に履修します。

必修科目である「プロジェクト型総合研究」では、都市が直面する具体的な政策課題をテーマとして設定し、学生が5名程度のグループ単位で学際的で実践的な学習を行います。各グループは、特定の自治体を選び現状分析、政策課題の抽出、仮説の設定と解決策の検討を県庁・市役所など行政機関でのヒアリングや現地調査を踏まえながら行

い、年度末には政策提言を行っています。

また、必修科目である「インターンシップ研究」では、東京都をはじめとした政策の現場で、夏休みに2週間の実習を行います。政策現場を単に体験するだけではなく、都市政策コースで学んだ分析手法や方法論を活かして、大都市東京の都市政策のあり方を提言するなど、インターンシップ先の政策を分析・評価する実践的な取り組みを行っています。こうした理論と実践の融合を通して、幅広い視野と将来を見据えた政策立案能力の涵養に努めています。

求められる学生像

都市政策について学ぶ面白さは、ダイナミックに変化し進展する都市そのものの魅力を実感できることにあります。こうした都市を取り巻く状況や課題を分析・評価し、具体的な課題解決に向けた政策提言をまとめ上げていくことに、都市政策研究の醍醐味があります。都市

政策コースでは、多様かつ複雑な都市政策課題に対する問題意識を持っている人、将来的に都市政策の担い手として活躍したいと考える人など、都市政策研究に意欲的・積極的に取り組もうという学生を求めています。

履修モデル

区分	1年	2年	3年	4年
都市教養科目群	基礎ゼミナール、英語教育、情報教育、都市教養プログラム (p.022 参照) (日本国憲法、都市政策入門、都市社会学、都庁の仕組みと仕事、官庁の仕組みと仕事)			
共通基礎教養科目群	共通教養科目、理工系共通基礎科目			
専門教育科目群	必修科目	都市政策論I プロジェクト型総合研究I	政策評価研究 プロジェクト型総合研究II インターンシップ研究	卒業論文
	選択必修科目	都市研究手法論 都市経営論 財政学 数量データ分析I・II 費用便益分析論 政策哲学研究 コミュニティ論	都市政策論II 都市経営分析 政策分析方法論I・II 法と経済学 地方自治法 環境法 都市空間論 コミュニティ政策・市民参加	都市問題と法政策的対応 都市環境と経済 都市政策とコミュニティ形成 制度設計論 公共政策の財政構造分析 都市経営・自治体経営の基礎的文獻講読

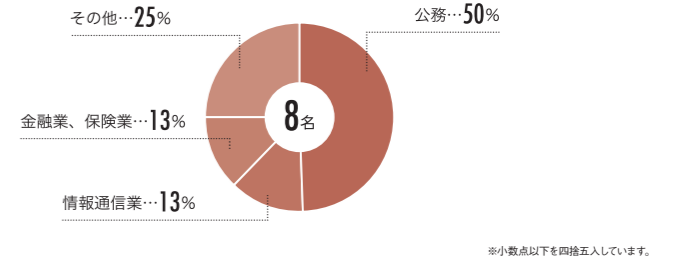
取得できる資格・免許

学士（都市政策）：卒業を要件として取得できます。

中学校教諭一種免許状（社会）：定められた教職に関する科目と教科に関する科目の単位（講義・演習・実習）の修得ならびに、卒業を要件として、教員免許状が取得できます。

高等学校教諭一種免許状（公民）：定められた教職に関する科目と教科に関する科目の単位（講義・演習・実習）の修得ならびに、卒業を要件として、教員免許状が取得できます。

卒業後の進路 (2010年3月卒業生実績)



2009年3月、2010年3月卒業生実績
 [就職先] 東京都庁、八王子市役所、日本政策金融公庫、日本生命保険、東京商工リサーチ、ノバルティス ファーマ など
 [進学先] 首都大学東京大学院、京都大学大学院、静岡文化芸術大学大学院 など

在校生インタビュー

高い志を持った仲間や先輩たちとの交流で お互いに成長できるところが魅力です。

大学では実学的な知識を学びたいと思い、法学系に入学しましたが、都市政策コースでは経済学、法律学、政治学などを多角的に学べると知り、2年次から都市政策コースに進級しました。主要科目である「都市政策論II」の講義では、実際に政策決定に携わっておられる国家公務員や地方公務員の方々の生の声を聴くことができたり、必修科目である「プロジェクト型総合研究」では3・4年生の先輩方と議論しながら自分たちの政策提言を作り上げるなど、本コースの学びを通して都立の大学ならではの貴重な体験をすることができました。また、少人数制の環境の中で、高い志を持った仲間と切磋琢磨し合いながらお互いに成長できることも都市政策コースの魅力だと思います。

公務員試験対策に対応しているだけでなく 将来、現場で必要になる能力が養えます。

大学入学時より公務員志望だったので、2年次からは公務員志望者が多い都市政策コースで学ぼうと思っていました。都市政策コースの講義はいずれも少人数制で行われており、教授と学生との距離が近く、アットホームな雰囲気の中で学ぶことができ、講義やゼミを通して、客観的に政策を分析する力や問題解決能力など公務員になってからも現場で役立つ能力を養うことができました。卒業後は東京都庁に勤務し、「政策」の担い手として行政に携わります。これからは、都市政策コースで学んだ知識や考え方を活かし、都民の方々から信頼される公務員として、幅広い分野から東京都の発展に寄与していきたいと考えています。



都市政策コース2年
(2010年10月取材)
榎山 陸子



都市政策コース4年
(2010年10月取材)
岡田 真大



■「制度設計論」のゼミ風景



■「都市政策入門」の講義風景



■「政策評価研究」の講義風景



■「財政学」の講義風景

都市教養学部 教員一覧

教員の専門分野・研究分野の紹介

人文・社会系

社会学分野 →p.034 (社会学コース)

江原 由美子 教授
理論社会学、ジェンダー研究

玉野 和志 教授
都市社会学、地域社会学

中尾 啓子 教授
社会階層論、社会調査法、社会統計法、社会ネットワーク

中川 薫 教授
保健医療社会学、ケアに関する研究

宮台 眞司 教授
社会システム理論、権力理論、宗教理論、青年文化論、消費社会学

左古 輝人 准教授
社会学理論、社会学史

丹野 清人 准教授
国際労働力移動、移民・エスニシティ、産業社会

山下 祐介 准教授
都市社会学、ハスクコミュニティ研究

内藤 準 助教
理論社会学、数理社会学、自由・階層・社会的排除

社会人類学分野 →p.034 (社会学コース)

伊藤 眞 教授
社会人類学、東南アジア社会論、人の移動、開発現象

何 彬 教授
民俗学、東アジア研究、漢族研究

高桑 史子 教授
社会人類学、海洋（海事）人類学、南アジア研究

鄭 大均 教授
韓日関係、在日コリアン、集団アイデンティティ

綾部 真雄 准教授
文化人類学、タイ地域研究、エスニック・セキュリティ論

石田 慎一郎 准教授
社会人類学、法人類学、東アフリカの民族誌

澤井 充生 助教
社会人類学、中国の宗教と政治、回族民族誌学

社会福祉学分野 →p.034 (社会学コース)

稲葉 昭英 教授
計量福祉学、社会統計学

岡田 英己子 教授
社会福祉・障害児教育の思想・理論の歴史、日独優生学の比較研究

岡部 卓 教授
社会保障論、公的扶助論

矢嶋 里絵 教授
社会保障法、障害者福祉法

長沼 菜月 准教授
ソーシャルワーク論、精神保健福祉

堀江 孝司 准教授
社会政策論、福祉国家論

和氣 純子 准教授
社会老年学、ソーシャルワーク論、高齢者福祉論、社会福祉国際比較論

姜 恩和 助教
社会福祉学

心理学分野 →p.036 (心理学・教育学コース)

市原 茂 教授
実験心理学、視覚系の情報処理メカニズム、感性評価

下川 昭夫 教授
臨床心理学、総合的な地域臨床支援、認知症高齢者の心理

須田 治 教授
発達心理学、情緒と自我発達及び発達臨床的支援

永井 徹 教授
臨床心理学、心理面接法、児童期から青年期の心理臨床

沼崎 誠 教授
実験社会心理学、社会的自己、偏見とステレオタイプの研究

平井 洋子 教授
心理学的測定論、心理測定の方法論や計量的手法

山下 利之 教授
認知心理学、概念、思考、論理判断、推論、意思決定など

天野 陽一 助教
発達心理学、社会心理学、親密な対人関係と利他行動

佐藤 章子 助教
臨床心理学

教育学分野 →p.036 (心理学・教育学コース)

荒井 文昭 教授
教育行政学、教育政治研究

乾 彰夫 教授
中等教育論、学校文化論、学校から社会への移行過程研究

岩崎 正吾 教授
比較教育・教育思想、臨床教育学、教育改革研究

浜谷 直人 教授
教育心理学、幼児期から思春期までの発達支援

金 侖貞 准教授
社会教育、生涯学習、日韓比較研究

西島 央 准教授
教育社会学、音楽教育学

野元 弘幸 准教授
社会教育、生涯学習、多文化教育

西村 貴之 助教
教育学、格差社会、フリーター

松下 丈宏 助教
教育学

哲学分野 →p.038 (国際文化コース)

石川 求 教授
ドイツ近現代哲学

大芝 芳弘 教授
西洋古典学、特にラテン語学・文学

岡本 賢吾 教授
論理学・数学の哲学

甲斐 博見 教授
西洋哲学、キリスト教倫理

実川 敏夫 教授
フランス哲学、近世哲学、現象学

前田 庸介 教授 ＊
西洋近代社会思想史

金子 善彦 准教授
哲学、古代ギリシャ哲学

千代鳥 雅 准教授 ＊
哲学、相対性理論、エントロピー理論

松阪 陽一 准教授
言語哲学

井原 健一郎 助教
西洋近世哲学

江川 隆男 助教
西洋近現代哲学、倫理学

歴史・考古学分野 →p.038 (国際文化コース)

奥村 哲 教授
中国近現代史、社会主義体制の歴史的研究

川口 勝康 教授
日本古代史、日本古代の都市と文化の研究

河原 温 教授
ヨーロッパ中世史、都市社会史

木村 誠 教授
朝鮮古代史、古代国家形成史

中嶋 毅 教授
ロシア近現代史、在外ロシア史

前沢 伸行 教授
古代ギリシャ史

山田 昌久 教授
考古学、技術史と地球環境史、植物利用史、生活水利研究

出穂 雅実 准教授
考古学（旧石器）

國 雄行 准教授
日本近代史

谷口 央 准教授
日本近世史、近世初期政治経済史

前田 弘毅 准教授
イスラム史

源川 真希 准教授 ＊
日本近現代史

赤羽日 匡由 助教
朝鮮古代史・東洋史

山岡 拓也 助教
考古学

アジア・日本文化論分野 →p.038 (国際文化コース)

[日本文化論]

飯田 勇 教授
日本古代の文学・文化・思想の研究。歌・神話・物語などの研究

稲田 篤信 教授
日本近世文学

猪股 ときわ 教授 ＊
日本古代文学

大島 賢生 准教授
日本語学

大杉 重男 准教授
日本近代文学

近藤 瑞木 助教
日本近世文学

中川 美和 助教
日本語学

西郡 仁朗 教授 ＊
日本語教育学、教育工学

ダニエル・ロング 教授 ＊
日本語教育学、言語接触論、社会言語学の日本語教育への応用

浅川 哲也 准教授 ＊
日本語学、日本語史

大久保 明男 准教授 ＊
中国文学

神田 明延 准教授 ＊＊
ネットワークやマルチメディアを利用した言語教育研究

長谷川 守寿 准教授 ＊
日本語教育学、現代日本語文法の計量的研究

崔 文姫 助教 ＊
日本語教育学

[アジア文化論]

落合 守和 教授
中国語史。特に北方漢語の形成過程を研究

木之内 誠 教授
中国古典文学、文化史

平井 博 教授
中国近代文学。物語論の言説機制の解明

荒木 典子 准教授
中国語史（明代漢語）

佐々木 睦 准教授 ＊
中国幻想文学

小方 伴子 助教
古漢語文法（先秦・兩漢）

欧米文化論分野 →p.038 (国際文化コース)

[英語圏文化論]

井出 光 教授
英語学。英語史、特に古英語

伊藤 誓 教授
18世紀を中心とするイギリス小説の研究。現代の批評と思想の紹介

福島 富士男 教授 ＊＊
アフリカ文学

渡部 桃子 教授
アメリカ現代詩、アメリカ文化、アメリカのフェミニズム

越 朋彦 准教授 ＊＊
17世紀英文学

高岸 冬詩 准教授 ＊＊
20世紀イギリス、アイルランド詩

辻 秀雄 准教授 ＊＊
アメリカ文学（現代散文）、モダニズム

中村 英男 准教授 ＊
19世紀イギリス小説

安井 マイケル 准教授 ＊＊
日米比較文学、14世紀イギリス文学、20世紀アメリカ文学

湯浅 良子 准教授 ＊＊
英・米・アイルランド文学及び英語圏文化

吉田 朋正 准教授 ＊＊
批評史、アメリカ文学・思潮

ロバート・ブロック 准教授 ＊＊
英語教育

笹川 渉 助教 ＊＊
17世紀英文学

平尾 吉直 助教
アフリカ系アメリカ人、アフリカの文学・文化

[ドイツ語圏文化論]

岡 良一 教授 ＊＊
独文学、亡命文学、ユーゲントシュティール

岡田 みどり 教授
近現代ドイツ文学

中居 実 教授
話芸論、ドイツ・オーストリア文化

古屋 裕一 准教授
ドイツ思想研究

山本 潤 准教授
中世ドイツ語学文学。特にニーベルンゲン伝説

[フランス語圏文化論]

石川 知広 教授
17世紀フランス文学・思想

大久保 康明 教授
16世紀フランス文学、特にモンテーニュ

小川 定義 教授 ＊
フランス語統語論

西山 雄二 准教授
現代フランス文学・思想

藤原 真実 准教授
18世紀フランス文学

表意言語論分野 →p.038 (国際文化コース)

岡崎 一 教授 ＊＊
英米ユーロピア文学・思想、英学史、比較文学

丘澤 静也 教授
マンネリズム論、ドイツ文学、身体文化論

瀬尾 育生 教授
近現代詩、ドイツ文学

高野 一良 教授
米文学。主に植民地時代から南北戦争期までのさまざまな文化現象

辻 麻子 教授 ＊
イギリスとイタリアの文化の相互関係の研究

行方 均 教授 ＊＊
アメリカ黒人文学、日本とアメリカのフォークロアの研究

萩原 裕子 教授
言語の認知脳科学、神経言語学

福岡 健二 教授
詩と映画と大衆音楽を中心とする文化研究

三宅 昭良 教授
移動文化論、カナダ英語文学・文化、カリブ海英語文学・文化

ヴァルター・ループレヒター 教授
ドイツ・オーストリア文学、文化史、文化論

赤塚 若樹 准教授
映像文化、比較文学、中央ヨーロッパ文化

亀澤 美由紀 准教授 ＊＊
ドイツ・イギリス文学・文化

高岸 冬詩 准教授（兼任） ＊＊
20世紀イギリス・アイルランド詩

原田 なをみ 准教授 ＊＊
理論言語学・比較統語論

藤井 誠 准教授 ＊＊
英語教育・英語学

保阪 靖人 准教授 ＊
生成文法理論によるドイツ語統語論研究、コーパス研究

保前 文高 准教授
認知神経科学、発達脳科学

本間 猛 准教授 ＊＊
理論言語学

高本 教之 助教
表象文化論

政治学コース →p.046

法学系

法律学コース →p.044

石崎 泰雄 教授
民法、医事法

大橋 弘 教授
民事法実務

川村 栄一 教授
租税法

木村 光江 教授
刑法

酒井 享平 教授
独占禁止法を中心とする経済法、競争政策

篠田 昌志 教授
民法

徳本 広孝 教授
行政法

富井 幸雄 教授
公法学

長谷川 貴陽史 教授
法社会学

潘 阿憲 教授
商法、特に会社法、保険法

深津 健二 教授
消費者法

星 周一郎 教授
刑事法

前田 雅英 教授
刑法、刑事訴訟法

峰 ひろみ 教授
刑事訴訟法

欠崎 淳司 教授
商法

我妻 学 教授
民事訴訟法、民事手続法

天野 晋介 准教授
労働法

桶倉 典哲 准教授
民法（財産法）

尾崎 悠一 准教授
商法

門脇 雄貴 准教授
行政法

北村 朋史 准教授
国際法

木村 草太 准教授
憲法学

作内 良平 准教授
民法

谷口 功一 准教授
法哲学

堤 健智 准教授
民法

手賀 寛 准教授
民事訴訟法

西村 裕一 准教授
憲法

堀田 周吾 准教授
刑事訴訟法

山神 清和 准教授
知的財産法

顧 丹丹 助教
商法（会社法）

柴田 守 助教
刑事法

松井 直之 助教
憲法

伊藤 正次 教授
行政学、都市行政論

大澤 姜 教授
西洋政治思想史、政治哲学

大杉 寛 教授
行政学、都市行政論

陣 肇斌 教授
日本政治史

野上 和裕 教授
西洋政治史

森山 茂徳 教授
比較政治

山田 高敬 教授
国際政治学、国際制度論

今井 亮佑 准教授
現代日本政治、政治行動論

河野 有理 准教授
日本政治思想史

前田 健太郎 准教授
政治学

逸見 勉 助教
国際政治、環境政治

小畑 俊太郎 助教
西洋政治思想史

＊オープンユニバーシティ所属

＊＊大学教育センター所属

西駕 秀俊 教授
発生生物学（脊索動物のコア発生プログラム）

田村 浩一郎 教授
分子進化学（ゲノム進化とバイオインフォマティクス）

久永 真市 教授
神経細胞生物学（神経細胞の情報伝達、リン酸化による機能制御）

松浦 克美 教授
環境微生物学（微生物と物質循環、光合成と環境の相互作用）

村上 哲明 教授
植物分類学・進化学（植物と菌類の生物学的種分類、分子系統地理）

岡本 龍史 准教授
植物発生学（高等植物胚発生過程の分子・細胞生物学）

加藤 潤一 准教授
分子遺伝学（バクテリアのゲノム及び細胞増殖機構）

黒川 信 准教授
神経生物学（行動の神経支配機構）

坂井 貴臣 准教授
神経遺伝学（行動及び学習・記憶の分子遺伝学的研究）

菅原 敬 准教授
植物系統分類学（被子植物の系統分類学、花生態学）

鈴木 準一郎 准教授
植物生態学（多年生草本植物を中心とした植物個体群の動態）

鈴木 惟司 准教授
動物生態学（社会性動物の行動生態学と生活史、生物地理）

永島 賢治 准教授
微生物生理・生化学（光合成細菌のエネルギー変換機構と進化）

林 文男 准教授
動物生態学（進化学生態学、群集生態学、保全生物学）

春田 伸 准教授
環境微生物学（微生物生態系の形成及び環境応答機構）

福田 公子 准教授
発生生物学（消化管形成の分子機構）

堀内 純二郎 准教授 ***
神経科学、ショウジョウバエを用いた学習と記憶のメカニズム

浅田 明子 助教
神経生化学（タンパク質リン酸化酵素の細胞内局在決定機構）

朝野 維起 助教
昆虫の生化学・遺伝学（モデル昆虫を用いた機能分子の解析）

加藤 英寿 助教
植物系統分類学（島嶼地域の生物多様性と保全）

鐘ヶ江 健 助教
植物分子細胞生物学（植物の光環境応答分子機構）

草野 保 助教
動物生態学（生活史、繁殖生態、個体群動態）

斎藤 太郎 助教
神経生化学（タンパク質リン酸化による神経機能制御）

清水 晃 助教
動物系統分類学（昆虫の系統学、分類学、比較行動学）

古川 聡子 助教
病原糸状菌と植物の相互作用に関する研究

古屋 伸久 助教
分子遺伝学（細菌プラスミドによる接合と遺伝子の伝達機構）

矢澤 徹 助教
生理学（心臓及び心臓を支配する神経の研究）

横田 直人 助教
細胞生化学（タンパク質代謝に関する細胞生物学・生化学）

野村 琴広 教授
有機金属化学（高性能分子触媒による効率合成反応）

波田 雅彦 教授
量子化学（化学反応や分子物性の量子論的解析）

浅野 素子 准教授
光化学（金属錯体・複合分子系の電子状態と動力学）

大浦 泰嗣 准教授
核宇宙化学（隕石中の核反応生成物の分析）

岡田 聖裕 准教授 ***
分子生物学（染色体分配メカニズムの解析）

久富本 志郎 准教授
無機材料化学（放射線を利用した機能性ガラスセラミックスの開発と評価）

好村 遼行 准教授
物理化学（ソフトマター（柔らかい物質）の物理化学）

佐藤 総一 准教授
有機化学（典型元素を基盤にした新規化合物の創製）

城丸 春夫 准教授
物理化学（微視的に化学反応を理解する為の物理化学実験）

西長 亨 准教授
構造有機化学（新規*π*共役系化合物の合成と物性評価）

橋本 健朗 准教授
計算化学（分子とその集合系のシミュレーション）

藤田 渉 准教授
物性化学（分子性磁性物質の構造と物性評価）

藤野 竜也 准教授
分子分光学（光反応ダイナミクスの研究）

松本 淳 准教授 ***
大気環境化学（極微量成分の反応と環境影響）

三島 正規 准教授
構造生物化学（生体高分子の立体構造と機能の解析）

秋山 和彦 助教
放射化学（放射性金属元素を内包したフラーレン研究）

池谷 鉄兵 助教
構造生物化学（生体高分子の立体構造解析手法の開発）

川端 庸平 助教
物理化学（分子集合体の構造とダイナミクス）

兒玉 健 助教
物理化学（金属原子を内包したフラーレンの科学）

芝本 幸平 助教
分析化学（ナノ微粒子の特異性を用いた分析法の研究）

白井 直樹 助教
宇宙・地球化学（太陽系と惑星の進化過程の考察）

田岡 万悟 助教
生化学（タンパク質とリボ核酸の分析方法の開発）

高瀬 雅祥 助教
有機化学（新しい構造と機能を持つ有機分子の開発）

平林 一徳 助教
有機化学（新規有機合成反応の開発）

松本 淳 助教
物理化学（原子分子衝突を用いた反応素過程の研究）

山下 健一 助教
合成化学（錯体化学、有機化学、超分子化学）

生命科学コース →p.062

相垣 敏郎 教授
遺伝学（老化と寿命の分子機構・ゲノムと遺伝子の機能）

青塚 正志 教授
集団・進化遺伝学（高等動物の遺伝的多様性の創出機構・歴史）

可知 直毅 教授
植物生態学（植物の生活史、生理生態と島嶼生態系の保全）

門田 明雄 教授
植物生理学（植物の光形態形成、光運動反応と細胞骨格）

川原 裕之 教授
分子生物学・遺伝生化学（細胞の増殖・分化・恒常性維持の分子機構）

小柴 共一 教授
植物生理学（植物の発生、環境応答と植物ホルモン）

小林 幸正 教授
動物系統分類学（昆虫の比較発生学、系統分類学、比較形態学）

政井 邦昭 教授
高エネルギー宇宙物理、銀河団の形成と進化

真庭 豊 教授
カーボンナノチューブの物性、低次元系の物理、ナノ構造物性

溝口 憲治 教授
加圧下、広帯域の磁気共鳴、DNA、低次元有機導体等の電子状態

南方 久和 教授
ニュートリノ物理学、標準理論を超える素粒子理論

石井 廣義 准教授
放射光を用いた光電子分光・磁気円二色性分光などによる物性研究

石崎 欣尚 准教授
X線天文学、宇宙の観測的研究と極低温検出器の開発

門脇 広明 准教授
ナノ構造、フラストレーション系、量子相転移、中性子散乱実験研究

セルゲイ・ケトフ 准教授
超弦理論、量子重力理論、素粒子の基礎理論

多々良 源 准教授
ナノ磁性、スピントロニクス理論。次期磁気デバイスの基礎研究

田沼 肇 准教授
原子物理学、特にmeV から MeV までのイオン衝突素過程

堀田 貴嗣 准教授
強相関電子系の磁性と超伝導の理論

森 弘之 准教授
低次元量子系の輸送現象・統計力学的性質に関する理論

安田 修 准教授
素粒子論・標準模型を超える物理、ニュートリノの物理

柳 和宏 准教授
ナノ構造体及びその集合相の物性研究、光物性

江副 祐一郎 助教
高エネルギー宇宙物理、星・惑星などの研究・装置開発

大塚 博巳 助教
物性基礎論、統計力学、計算物理学

北澤 敬章 助教
素粒子物理学理論（弦理論に基づいた素粒子模型の構成）

浅田 哲郎 助教
素粒子実験物理学・ビーム物理学

坂本 浩一 助教
磁気共鳴を用いた有機結晶の電子状態の研究

佐々木 伸 助教
宇宙物理学、宇宙論、銀河間物質

高津 浩 助教
粒子ビーム物性

田中 篤司 助教
非線形物理、量子論

千葉 雅美 助教
素粒子実験と超高エネルギーニュートリノ検出器の開発

東中 隆二 助教
物性物理学（低温磁性）

化学コース →p.060

阿知波 洋次 教授
物理化学（ナノカーボン科学）

磯邊 俊明 教授
生物化学（タンパク質の生体内機能に関する研究）

伊藤 隆 教授
構造生物化学（NMRによる細胞内分子動態の解析）

海老原 充 教授
宇宙・地球化学（太陽系と惑星の進化過程の考察）

加藤 直 教授
物理化学（分子集合体の構造とダイナミクス）

菊地 耕一 教授
物理化学（有機超伝導体、フラーレン、キラル磁性体の物性化学）

伊永 隆史 教授
分析化学（食品安全・健康増進の安定同位体動態解析）

清水 敏夫 教授
有機合成化学（高周期典型元素化合物の合成と合成反応の開発）

杉浦 健一 教授
合成化学（機能を複合させた巨大分子の合成と評価）

理工学系

数理学コース →p.056

岡田 正巳 教授
数値調和解析学、応用数理

神島 芳宣 教授
トポロジーと幾何構造

倉田 和浩 教授
偏微分方程式論、変分問題、非線形解析

相馬 輝彦 教授
3次元トポロジー、力学系

高桑 昇一郎 教授
大域的解析学、偏微分方程式

津村 博文 教授
整数論、ゼータ関数

徳永 浩雄 教授
代数幾何学

中村 憲 教授
数論アルゴリズム、数論システム、暗号理論

服部 久美子 教授
フラクタル上の確率過程論

福永 力 教授
コンピュータアーキテクチャ、並列処理

マーティン ゲスト 教授
微分幾何学、トポロジー、可積分系

今井 淳 准教授
低次元トポロジー、結び目理論

上原 北斗 准教授
代数幾何学

内山 成憲 准教授
暗号理論、情報セキュリティ、数論アルゴリズム

黒田 茂 准教授
アフィン代数幾何学、多項式環論

小林 正典 准教授
代数幾何学、ミラー対称性

鈴木 登志雄 准教授
計算理論、計算量理論、数理論理学

高井 博司 准教授
非可換幾何学、作用素環論

村上 弘 准教授
計算数学（数式処理、数値計算、並列計算）

横田 佳之 准教授
結び目理論、3次元多様体論

吉富 和志 准教授
微分方程式論、スペクトル理論

赤穂 まなぶ 助教
ゲージ理論、シンプレクティック幾何学

川崎 健 助教
可換代数

酒井 高司 助教
微分幾何学、部分多様体論

平田 雅樹 助教
力学系理論（エルゴード理論）、確率論

物理学コース →p.058

青木 勇二 教授
強相関電子系、エキゾチック超伝導体、ナノ磁性体の電子物性

大橋 隆哉 教授
X線γ線天文学、科学衛星による宇宙観測と観測装置の開発

岡部 豊 教授
凝縮系理論、相転移・臨界現象、量子多体系、計算物理学手法開発

佐藤 英行 教授
強相関電子系、エキゾチック超伝導体、ナノ磁性体の電子物性

首藤 啓 教授
非線形動力学、古典及び量子カオス

鈴木 徹 教授
原子核・ハドロン物理学、量子縮退原子気体、有限量子多体論

住吉 孝行 教授
高エネルギー実験、衝突型加速器を用いた素粒子実験

都市教養学部 教員一覧

教員の専門分野・研究分野の紹介

経営学系

経営学コース→p.050/経済学コース→p.052

兩宮 昭彦 教授
ドイツ経済史・経済思想史、世界経済史

飯塚 博邦 教授
計量経済学、景気循環と金融政策の実証研究

飯村 卓也 教授
ミクロ経済学

梅田 雅信 教授
経済政策、金融システム論、日本経済論

木島 正明 教授
金融工学、特に金融リスクの計量化と派生証券の価格付け

桑田 耕太郎 教授
経営学、組織論、企業組織の戦略的変革

小谷 重徳 教授
プロダクション・マネジメント、システム・デザイン

高尾 義明 教授
経営組織論

田中 敬一 教授
数理ファイナンス、金利及び信用リスク派生商品の価格付け

中岡 英隆 教授 ***
リアルオプション、ファイナンス、リスクマネジメント

中塚 利直 教授
経営科学、混雑現象の解明、応用確率論

長瀬 勝彦 教授
行動意思決定論

細海 昌一郎 教授
管理会計、知的資本の実証的研究

松田 千恵子 教授
経済・財政戦略、資本市場論

宮川 彰 教授
経済理論、資本蓄積論、再生産・恐慌論、中国等の移行期経済

村田 啓子 教授
日本経済論、経済政策、現代日本経済の実証的研究

室岡 幸雄 教授
金融リスク論

森本 博行 教授
経営戦略論、国際経営論

山崎 志郎 教授
現代日本経済史

山下 英明 教授
オペレーションズ・リサーチ、待ち行列理論とその応用、経営工学

脇田 成 教授
マクロ経済学

渡辺 隆裕 教授
ゲーム理論、ミクロ経済学

浅野 敬志 准教授
財務会計研究

石井 利江子 准教授
公共経済学

岩間 俊彦 准教授
イギリス社会史・経済史・都市史・企業者史

芝田 隆志 准教授
企業経済学、コーポレート・ファイナンス

高橋 勲徳 准教授
ビジネスイノベーション

中山 厚穂 准教授
マーケティングサイエンス

松尾 隆 准教授
企業オペレーションと戦略との関係

水越 康介 准教授
マーケティング・マネジメント

森 治憲 准教授
統計学

若森 みどり 准教授
社会思想、経済思想史

浅田 進史 助教
経済史

荒戸 寛樹 助教
マクロ経済学

都市教養学部 教員一覧

教員の専門分野・研究分野の紹介

理工学系

電気電子工学コース →p.064

- 奥村 次徳 教授
半導体工学。化合物半導体の不純物ドーピングや格子欠陥
- 清水 敏久 教授
半導体電力変換工学、半導体電力回路のモデリング・制御
- 須原 理彦 教授
量子電子工学・半導体デバイス工学
- 岡本 仁 教授
電子通信工学。圧電弾性波を利用した小型機能デバイス
- 多氣 昌生 教授
環境電磁工学、生体電磁環境、騒音制御工学
- 枡久保 文嘉 教授
放電物理、気体放電プラズマとプラズマ化学反応の基礎・応用
- 安田 恵一郎 教授
システム工学。最適化手法と電力システムへの応用
- 渡部 泰明 教授
電子工学、計測工学、原子発振器等精密周波数発生源の設計・応用
- 内田 諭 准教授
放電物理、プラズマ応用、静電気学
- 五箇 繁善 准教授
電子デバイス、電子機器
- 鈴木 敬久 准教授
生体電磁気学、プラズマ理工学、数値シミュレーション
- 相馬 隆郎 准教授
ロボット工学、精度保証付き数値計算法
- 中村 成志 准教授
半導体工学、結晶工学、電子デバイス
- 三浦 大介 准教授
超伝導材料の高性能化と超伝導応用
- 和田 圭二 准教授
パワーエレクトロニクス、特に分散型電源や電力系統応用
- 上條 敏生 助教
光・マイクロ波工学、通信・ネットワーク工学、電子・電気材料工学
- 斉藤 光史 助教
化合物半導体結晶成長・表面物性
- 佐藤 隆幸 助教
超音波生体画像、生体医工学
- 白井 直機 助教
放電プラズマ、マイクロプラズマ
- 田村 健一 助教
システム制御理論
- 土屋 淳一 助教
電気機器、電気エネルギー工学、パワーエレクトロニクス
- 水口 佳一 助教
超伝導工学、磁気工学

機械工学コース →p.066

- 浅古 豊 教授
伝熱工学、マイクロスケールの流れと熱移動、磁化力の工学応用
- 首藤 登志夫 教授
エネルギー工学、水素エネルギー、代替燃料、燃料電池、エンジン
- 真鍋 健一 教授
固体力学、塑性工学、材料変形解析、複合材料、マイクロ塑性加工
- 水沼 博 教授
流体工学、抵抗低減、液相マイクロプロセス、生体流動
- 吉業 正行 教授
環境機能材料学、先進高温材料システム保証学
- 吉村 卓也 教授
振動工学、機械力学、振動騒音の現象解析、最適構造設計
- 若山 修一 教授
人工関節の長期信頼性、バイオセラミックス、疲労骨折の早期診断
- 小方 聡 准教授
流体工学、マイクロ・ナノ領域流れ、抵抗減少効果
- 小口 俊樹 准教授
制御工学、非線形むだ時間システムの制御、複雑系の同期と制御

都市政策コース

都市政策コース →p.068

- 奥 真美 教授
行政法、環境法
- 白石 賢 教授
法と経済学、経済刑法
- 和田 清美 教授
都市社会学、コミュニティ・市民参加論
- 朝日 ちさと 准教授
政策評価研究、費用便益分析
- 金子 憲 准教授
財政学、公共経済学
- 松井 望 准教授
行政学、都市行政論
- 伊藤 智基 助教
行政法
- 大槻 茂実 助教
社会学・社会調査

都市環境学部

Faculty of Urban Environmental Sciences

都市環境学科

<http://www.ues.tmu.ac.jp/index.html>

080 地理環境コース

082 都市基盤環境コース

084 建築都市コース

086 分子応用化学コース

088 自然・文化ツーリズムコース*

*他の4コース在籍学生の中で希望者が、3年次進級時に選択